

2017年3月卒業予定者の

就職活動に関する 学生調査

2016年
10月1日状況

内定獲得率 **89.1%**

78.4%の学生が「就活終了」


応募企業数は減る一方、内定獲得率は前年超え




アイDEM 人と仕事研究所

WEBサイトでは、採用活動のヒントとなる情報を発信しています

<https://apj.aidem.co.jp/>

人と仕事 

 「就職活動に関する学生調査」
「新卒採用に関する企業調査」
学生と企業の「今」がわかります

株式会社アイDEM
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-4-10
アイDEM本社ビル

お問い合わせ
▶ 広報担当 / 望月・栗木 ▶ 調査担当 / 岸川・古橋・菊地
☎ 03-5269-8780 ✉ kouhousitu@aidem.co.jp

結果概要

2017 就職活動に関する学生調査
(2016年10月1日状況)

進捗状況

▶現在のステータス

【主な活動】

「面接・試験段階」…………… 5.8%
「内定獲得／就活継続段階」…………… 9.5%
「内定獲得／就活終了段階」…………… 78.4%
(前年比+4.2ポイント)

【各活動ステータスに到達した学生の割合】

「内定獲得段階(内定獲得率)」…………… 89.1%
(前年比+6.5ポイント)

▶内定獲得社数

平均2.3社 (前年比±0社)
内定獲得者の61.2%が“2社以上”の内定を獲得

▶会社説明会参加回数

平均27.3社

▶応募企業数

平均27.1社 (前年35.1社から-8.0社)

▶エントリーシート・履歴書提出企業数

平均19.2社 (前年20.1社から-0.9社)

▶面接選考企業数

平均13.5社 (前年13.3社から+0.2社)

▶1日の活動時間

「就職活動に費やす時間」は0.7時間で、
前回調査(9月1日時点:0.8時間)から0.1時間の減少で
調査開始以来最低

「学業に費やす時間」は3.9時間で、
前回調査(9月1日時点:3.4時間)から0.5時間の増加

就職活動継続者の動向

▶企業への新たな応募予定がある学生

63.9% 前回調査(9月1日時点:70.8%)から減少

▶内定を獲得できなかった場合の進路

「卒業してアルバイト等しながら就職活動を継続」68.5%

内定企業・入社予定企業について

▶内定辞退の状況

「入社予定企業の内定のみを残し、他はすべて辞退した」84.7%

▶入社予定企業の業界

「メーカー」…………… 29.3% 「ソフトウェア・通信」 12.9%
「金融・証券・保険」… 12.2%

▶最初の内定を獲得した時期

「6月」…………… 27.3% 「5月」…………… 22.6%
「4月」…………… 13.2%
選考活動解禁の6月より前に内定を獲得した学生は46.3%

▶就職活動を終了した時期

「6月」…………… 39.5% 「7月」…………… 20.5%
「8月」…………… 12.7%
選考活動解禁直後の6月末までに54.2%の学生が
就職活動を終了

▶就職活動を終了した理由

「第一志望群の企業から内定を獲得したから」…………… 64.4%
「第一志望群ではないが、納得できる企業から内定を獲得したから」
30.2%

▶内定ブルーの実態

内定ブルーの経験「あり」…………… 74.9%
内容は「社会人としてやっていけるか」
「同期や社員とうまくやれるか」

▶社会人になったときの希望帰宅時間・許容できる帰宅時間

希望帰宅時間 …… 1位「18時～19時頃」 2位「17時～18時頃」
許容できる帰宅時間 1位「19時～20時頃」 2位「20時～21時頃」

就職活動の振り返り

▶取り組んだ準備・対策

「就活ナビサイトへの登録」…………… 83.3%
「自己分析」…………… 66.2%
「適性検査対策」…………… 65.6%
取り組み時期は広報活動解禁の3月前後に集中

キャリアセンターの利用率は69.6%

利用目的は 1位「エントリーシート・履歴書添削」 2位「悩み相談」

▶企業選びのこだわりの変化

「希望“業界”を変更した」…………… 52.8%
「希望“職種”を変更した」…………… 48.0%

▶就職活動の反省・後悔

反省・後悔「あり」…………… 78.9%
具体的には、「面接対策」「企業・業界研究」「自己分析」が
“不十分”

▶相談相手

「友人」…………… 66.8%
「父親・母親」…………… 59.2%
「キャリアセンター職員」…………… 42.6%

●	調査概要	p. 4
1	就職活動の進捗状況	p. 5
2	内定獲得状況	p. 6
3	企業規模に対する志向	p. 7
4	入社予定企業の従業員規模	p. 8
5	1日の活動時間	p. 9
6	会社説明会参加回数	p.10
7	応募企業数	p.11
8	エントリーシート・履歴書提出企業数	p.12
9	面接選考企業数	p.13
10	現在選考中の企業数	p.14
11	企業への新たな応募予定(10月)	p.15
12	内定を獲得できなかった場合の進路	p.16
13	志望業界・入社予定企業の業界	p.17
14	志望職種・入社予定企業の職種	p.18
15	内定辞退の状況	p.19
16	内定獲得時期・就活終了時期	p.20
17	就職活動終了理由	p.22
18	内定ブルーの実態	p.23
19	就職活動の準備・対策	p.24
20	就職活動の準備・対策を行なった時期	p.25
21	企業選びのこだわりは変化したか	p.26
22	企業に評価されたと思うもの	p.27
23	就職活動の反省・後悔	p.28
24	就職活動における相談相手	p.29
25	キャリアセンターの利用状況	p.30
26	キャリアセンターに力を入れてほしいこと	p.31
27	働く上で大切にしたいもの	p.32
28	希望する／許容できる帰宅時間	p.33

調査概要

調査目的

2016年10月1日時点における就職活動の準備・進捗状況等から、就職活動を行なう学生の実態を明らかにすること

調査対象

2017年3月卒業予定で、民間企業への就職を希望している大学4年生・大学院2年生の男女

調査方法

インターネット調査

調査期間

2016年10月1日～3日

有効回答

671名

「JOB BRASS 新卒」登録学生（330名）、株式会社クロス・マーケティングのアンケートモニター（341名）

※本調査は小数点以下第2位を四捨五入しているため、結果が100.0%にならない場合があります。
※「平均回答個数」とは、複数回答形式の設問において各回答者が回答した選択肢の個数の平均を示しています。

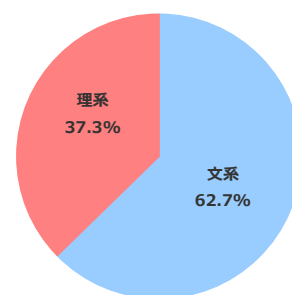
居住地域	回答数	(%)
北海道・東北地方	26	3.9
関東地方	245	36.5
北陸・甲信越地方	16	2.4
東海地方	38	5.7
近畿地方	261	38.9
中国地方	32	4.8
四国地方	9	1.3
九州地方	44	6.6
合計	671	100.0

専攻	回答数	(%)
文系	489	72.9
理系	182	27.1
合計	671	100.0

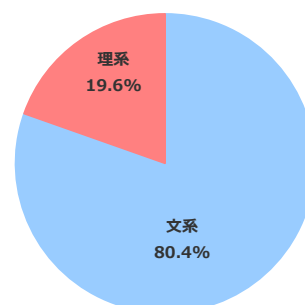
所属サークル	回答数	(%)
文化系	205	30.6
体育会系	138	20.6
イベント系	60	8.9
無所属	268	39.9
合計	671	100.0

性別	回答数	(%)
男性	284	42.3
女性	387	57.7
合計	671	100.0

男性



女性



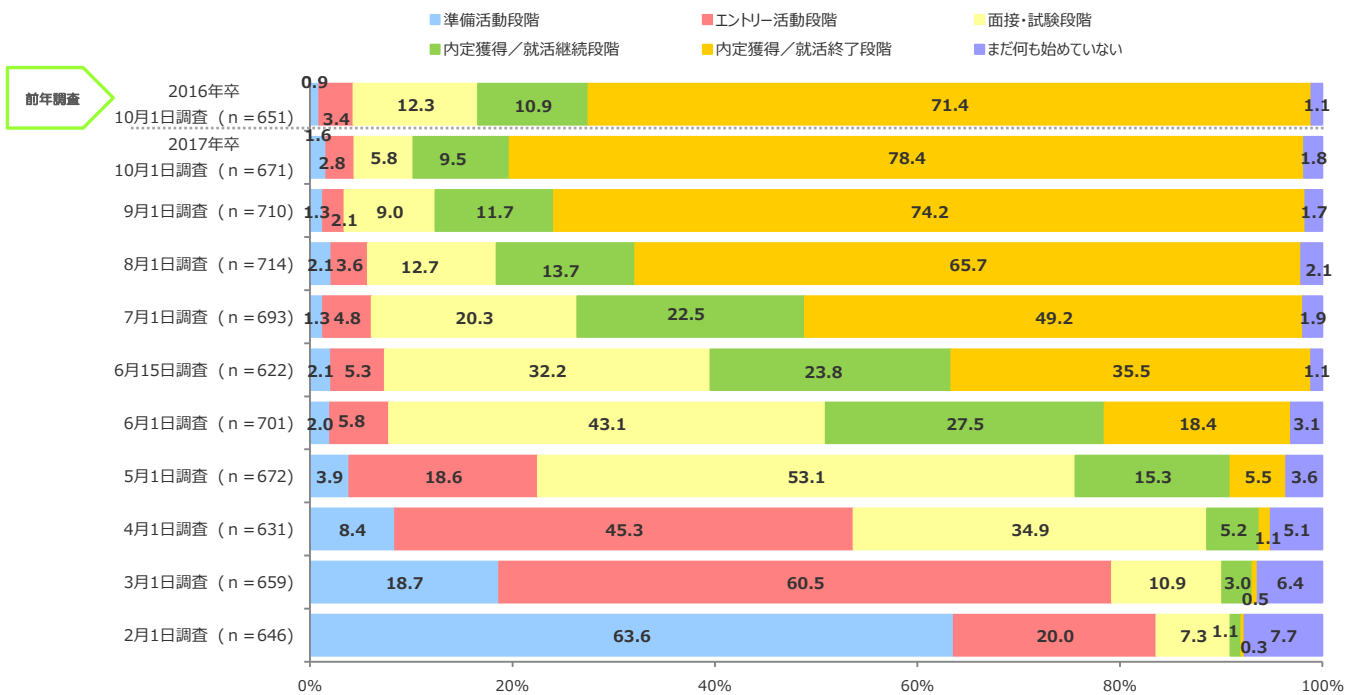
就職活動の進捗状況

学生に、2016年10月1日時点の就職活動において、“現在行なっている＜主な活動＞”を聞いた。78.4%が「内定獲得／就活終了段階」と回答しており、約8割の学生が就職活動を終了させている。前年調査（「2016年3月卒業予定者の就職活動に関する学生調査 2015年10月1日状況」／以下同）と比較すると、進捗が早い。就職活動を継続している学生については、「内定獲得／就活継続段階」が9.5%、「面接・試験段階」が5.8%となっており、2017年卒学生の就職活動も最終局面を迎えている（図1.1）。

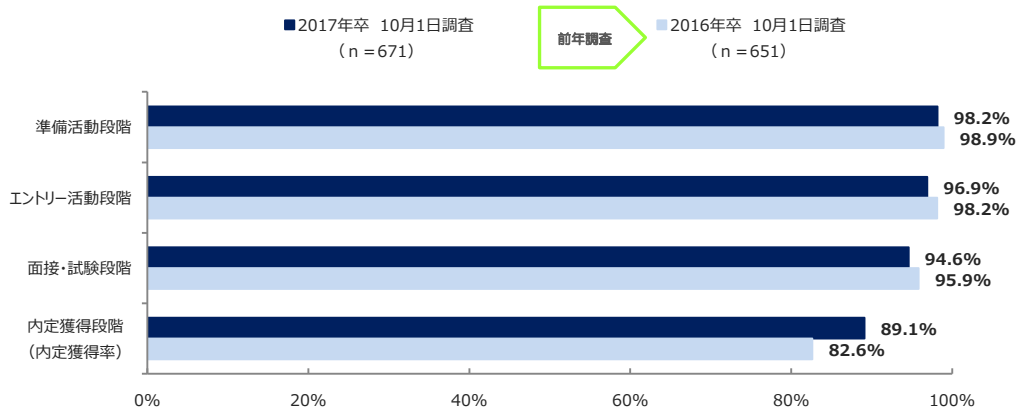
また、どのくらいの学生が就職活動の各活動ステータスに到達しているかを見た。10月1日時点では、「準備活動段階」98.2%、「エントリー活動段階」96.9%、「面接・試験段階」94.6%となっている。「内定獲得段階（“内定獲得／就活継続段階”と“内定獲得／就活終了段階”の計。以下“内定獲得率”）」は89.1%となり、前年調査の82.6%から6.5ポイント増加している（図1.2）。

- ◆準備活動段階
就職活動の情報収集や就活ナビサイトへの登録、自己分析や業界研究など企業にエントリーする前の準備をし始めた段階
- ◆エントリー活動段階
説明会やエントリーシートの作成・提出など、企業にエントリー・応募し始めた段階
- ◆面接・試験段階
面接や試験など、主に企業の選考を受けている段階
- ◆内定獲得／就活継続段階
1社以上の内定を獲得したが、就活を継続している段階
- ◆内定獲得／就活終了段階
1社以上の内定を獲得し、就活を終了した段階

【図1.1】現在の就職活動のステータス：＜主な活動＞



【図1.2】各活動ステータスに到達した学生の割合



内定獲得状況

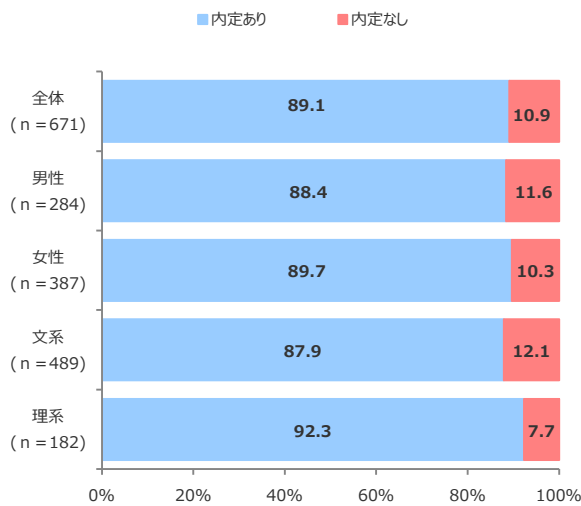
「図1.2 各活動ステータスに到達した学生の割合」から、学生の内定獲得状況の詳細を見た。

全体では、「内定あり」89.1%、「内定なし」10.9%となった。男女別では大きな差はないが、文理別では理系の方が「内定あり」の学生の割合が高く、92.3%となっている（図2.1）。

内定を獲得した学生に、獲得社数を聞くと、平均は2.3社だった。「1社」38.8%、「2社」28.4%、「3社以上」32.8%となっている。属性別に見ると、男女別では男性が、文理別では文系が、入社予定企業の従業員規模別では規模の大きい企業に入社予定の学生の方が、内定獲得社数が多い（表2）。

内定獲得率の推移を見ると、9月1日調査から2.8ポイントの増加となった。また、内定獲得者に占める複数内定獲得者の割合（以下、内定獲得者における複数内定獲得率）は、61.2%に達している（図2.2）。

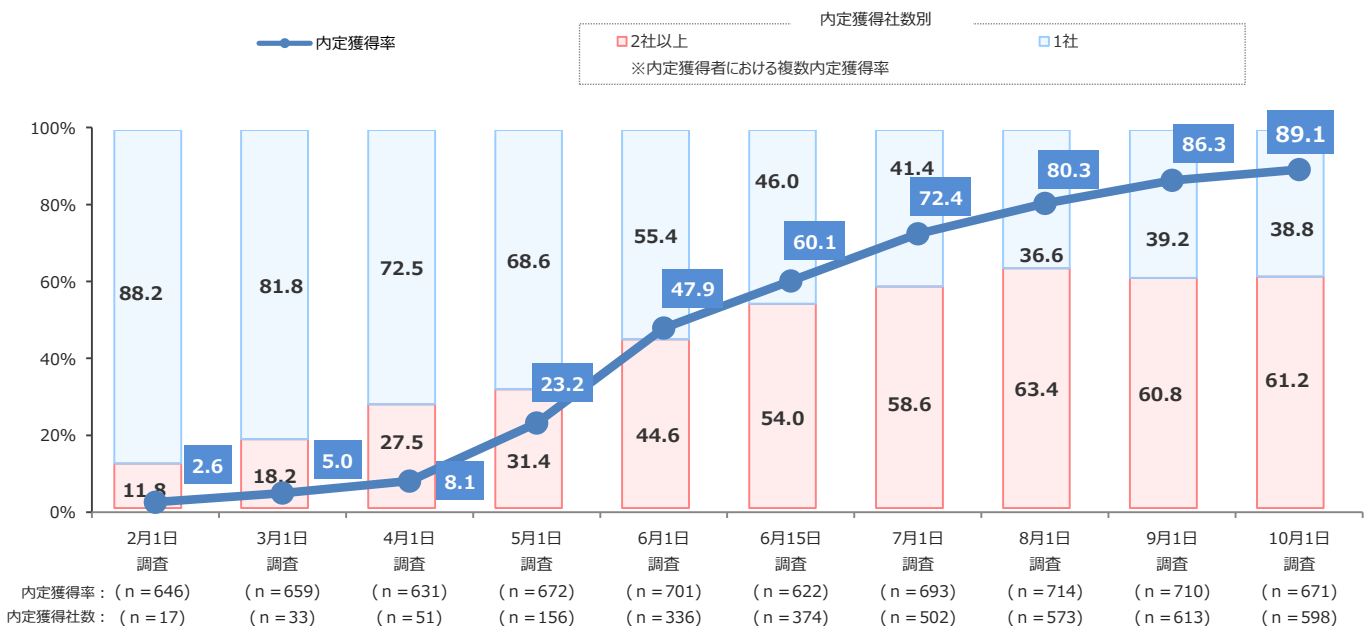
【図2.1】内定獲得状況：属性別



【表2】内定獲得社数：属性別

		1社 (%)	2社 (%)	3社以上 (%)	平均 (社)
2017年卒 10月1日調査 全体 (n=598)		38.8	28.4	32.8	2.3
2016年卒 10月1日調査 全体 (n=538)		38.5	27.0	34.6	2.3
男女別	男性 (n=251)	36.7	25.5	37.8	2.4
	女性 (n=347)	40.3	30.5	29.1	2.2
文理別	文系 (n=430)	36.3	29.1	34.7	2.4
	理系 (n=168)	45.2	26.8	28.0	2.2
従業員規模別	299人以下 (n=161)	42.9	35.4	21.7	2.0
	300~999人 (n=145)	37.9	29.0	33.1	2.2
	1,000~2,999人 (n=105)	27.6	33.3	39.0	2.6
	3,000人以上 (n=141)	37.6	17.7	44.7	2.7

【図2.2】内定獲得状況：時系列



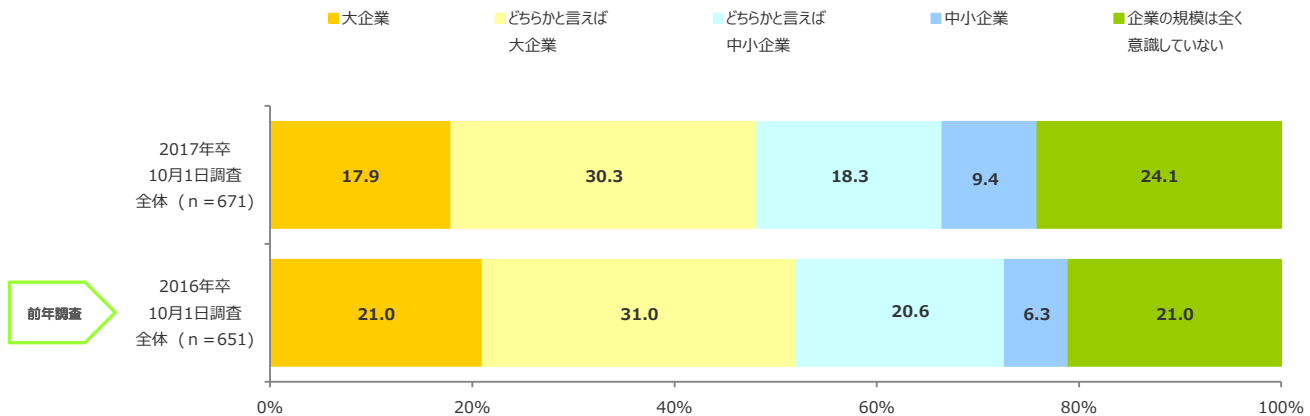
企業規模に対する志向

学生に、就職活動を行なうにあたり、大企業と中小企業のどちらを志望する気持ちが強いかを聞いた。10月1日時点では、「大企業志向」（「大企業」と「どちらかと言えば大企業」の計/以下同）が48.2%に上った。「中小企業志向」（「中小企業」と「どちらかと言えば中小企業」の計/以下同）の学生は27.7%、「企業の規模は全く意識していない」学生は24.1%となった（図3.1）。

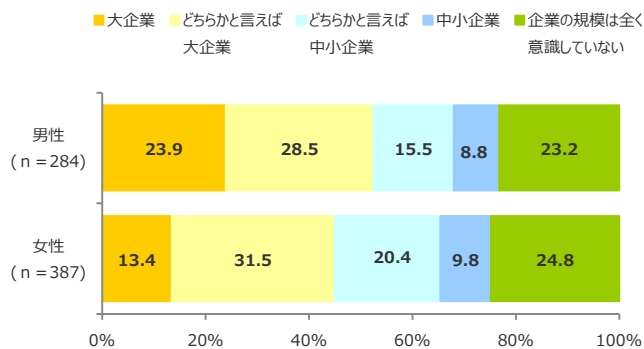
男女別で見ると、大企業志向の学生の割合は、男性52.4%、女性44.9%となり、男性の方が大企業志向の割合が高くなっている（図3.2）。

文理別で見ると、大企業志向の学生の割合は、文系で49.3%、理系で45.0%となり、文系の方が若干高い（図3.3）。

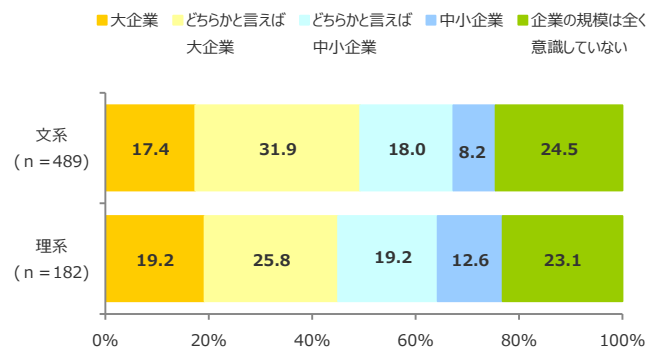
【図3.1】企業規模に対する志向



【図3.2】企業規模に対する志向：男女別



【図3.3】企業規模に対する志向：文理別



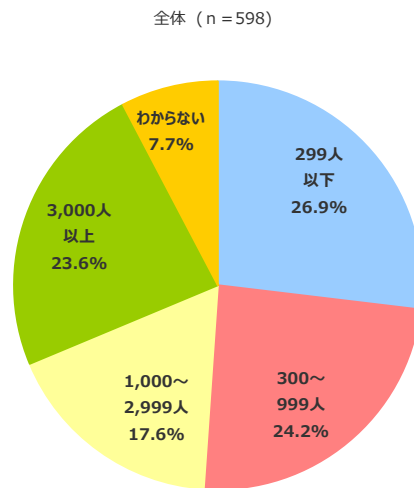
入社予定企業の従業員規模

「2 内定獲得状況」において、10月1日時点で内定を獲得している学生に、入社予定企業（複数内定獲得者は、現時点で最も入社志望度が高い企業）の従業員規模を聞いた。「299人以下」の企業に入社予定の学生が26.9%で最多となっている（図4.1）。

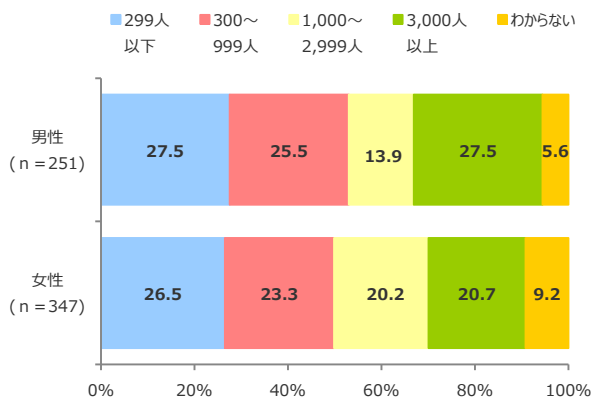
男女別に見ると、男性は女性よりも「3,000人以上」の企業に入社予定である学生の割合が高い（図4.2）。

企業規模に対する志向別に見ると、「大企業志向」の学生の39.8%は「3,000人以上」の企業に入社予定である。反面、約3割の学生は「299人以下」もしくは「300～999人」の企業に入社予定であり、自身の志向と入社予定企業の規模が合致していない。一方、中小企業志向の学生の約8割は、「299人以下」もしくは「300～999人」の企業に入社予定である（図4.3）。

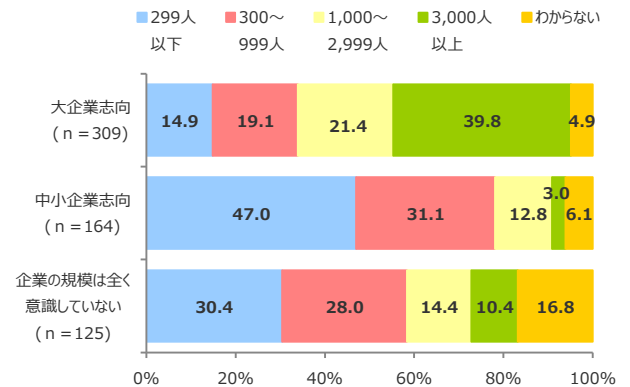
【図4.1】入社予定企業の従業員規模



【図4.2】入社予定企業の従業員規模：男女別



【図4.3】入社予定企業の従業員規模：企業規模に対する志向別



1日の活動時間

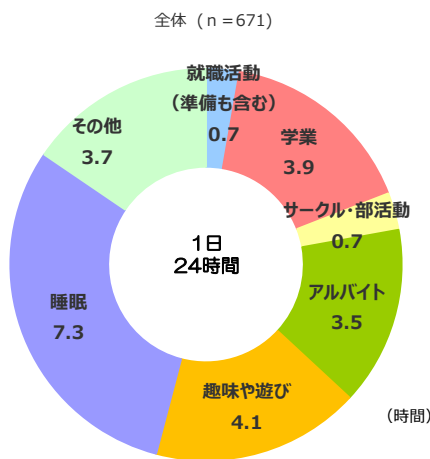
学生に、10月1日時点で、1日のうち「就職活動」「学業」「サークル・部活動」「アルバイト」「趣味や遊び」「睡眠」にどのくらいの時間を費やしているかを聞き、平均化した。結果は、「就職活動」0.7時間、「学業」3.9時間、「サークル・部活動」0.7時間、「アルバイト」3.5時間、「趣味や遊び」4.1時間、「睡眠」7.3時間となった（図5.1）。

属性別に見ると、文理別では、「学業」に費やす時間は、理系が6.5時間、文系が3.0時間と理系の方が大幅に多く、卒業に向けた研究・論文が本格化していることがうかがえる。内定獲得状況別では、「内定なし」の学生の「就職活動」に費やす時間は2.9時間となっている。「趣味や遊び」「睡眠」「その他」の時間の使い方は、内定の有無で大きな差はなく、「内定なし」の学生は、主に「アルバイト」の時間をやりくりし、就職活動時間を捻出しているようだ（図5.2）。

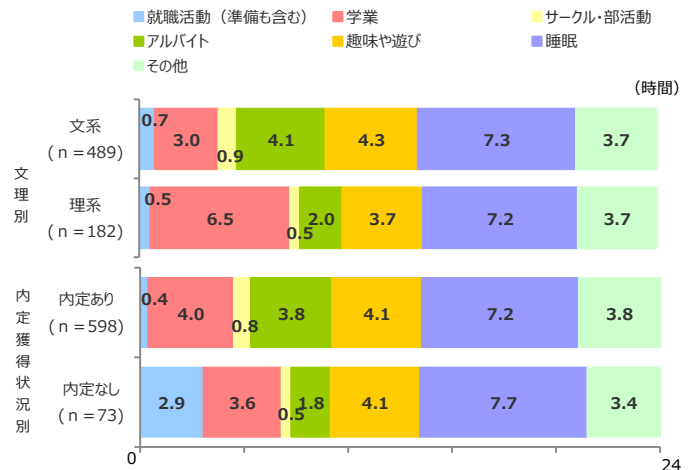
時系列で見ると、「就職活動」に費やす時間は6月以降減少し続け、2月の調査開始以来最低の数値となった。その一方で、「アルバイト」に費やす時間は、8月以降高水準を保ち、「趣味や遊び」の時間も9月1日調査の最大値に近い。正式な内定解禁時期を迎え、就職活動は終了に向かっていているようだ。

さらに、前年調査と比較すると、同時期でも就職活動時間は3分の1以下になっており、終了時期が早くなっていることが改めて感じられる（図5.3）。

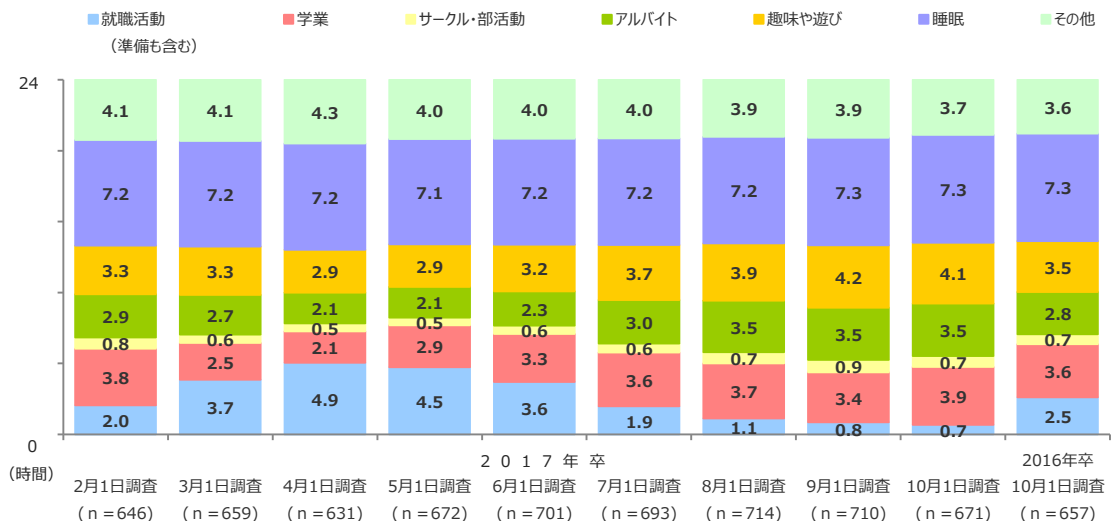
【図5.1】1日の活動時間／平均



【図5.2】1日の活動時間／平均：属性別



【図5.3】1日の活動時間の推移／平均



会社説明会参加回数

「1 就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」以外の回答をした学生に対し、10月1日までに参加した会社説明会の回数の合計を聞いた。結果は、「40回以上」が25.9%と最も多く、続いて「20～29回」が22.2%、「10～19回」17.9%となった。

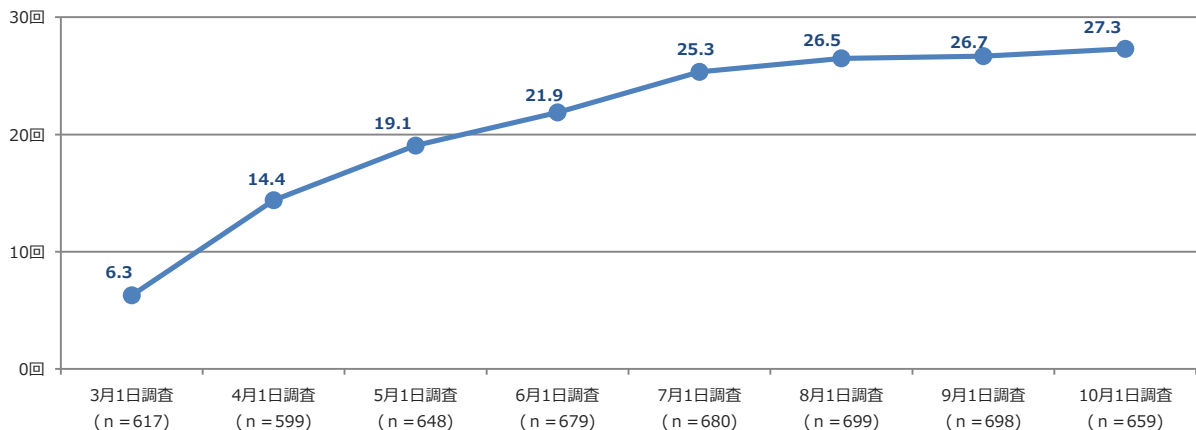
平均回数は27.3回となった。男女別では女性の、文理別では文系の、企業規模に対する志向別では大企業志向の学生の参加回数が増えている。また、内定獲得状況別に見ると、「内定あり」の学生の方が「内定なし」の学生に比べ、より多くの会社説明会に参加している。また、内定獲得社数が多くなるほど会社説明会への参加回数も多くなる傾向があった（表6）。

平均回数の推移を見ると、9月1日調査から0.6回の増加に留まった。3月から7月までは毎月増加傾向にあったが、8月1日調査以降は大きな変化は見られなくなった（図6）。

【表6】会社説明会参加回数：属性別

		0回	10回	19回	20回	30回	40回以上	平均
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(回)
全体 (n=659)		2.7	15.2	17.9	22.2	16.1	25.9	27.3
男女別	男性 (n=277)	2.2	14.4	20.2	22.7	16.2	24.2	26.0
	女性 (n=382)	3.1	15.7	16.2	21.7	16.0	27.2	28.3
文理別	文系 (n=479)	2.3	11.7	15.2	22.3	16.7	31.7	30.6
	理系 (n=180)	3.9	24.4	25.0	21.7	14.4	10.6	18.4
対する企業規模に志向別	大企業志向 (n=321)	2.8	7.8	18.1	20.9	18.1	32.4	30.8
	中小企業志向 (n=182)	2.2	21.4	19.2	24.2	13.7	19.2	24.2
	企業の規模は全く意識していない (n=156)	3.2	23.1	16.0	22.4	14.7	20.5	23.7
内定獲得状況別	内定なし (n=61)	9.8	34.4	14.8	21.3	8.2	11.5	19.5
	内定あり計 (n=598)	2.0	13.2	18.2	22.2	16.9	27.4	28.1
	内定あり獲得社数別							
	1社 (n=232)	4.3	20.7	17.7	22.8	17.2	17.2	22.7
2社 (n=170)	0.6	11.2	20.6	25.9	14.7	27.1	28.0	
3社以上 (n=196)	0.5	6.1	16.8	18.4	18.4	39.8	34.5	

【図6】会社説明会参加回数の推移／平均



応募企業数

「1 就職活動の進捗状況」において、就職活動が「エントリー活動段階」以降に進んでいる学生に対し、10月1日までに選考に応募した企業数を聞いた。結果は、「10～19社」が最も多く、24.2%を占めた。次いで「30～49社」22.8%、「1～9社」19.8%となっている。

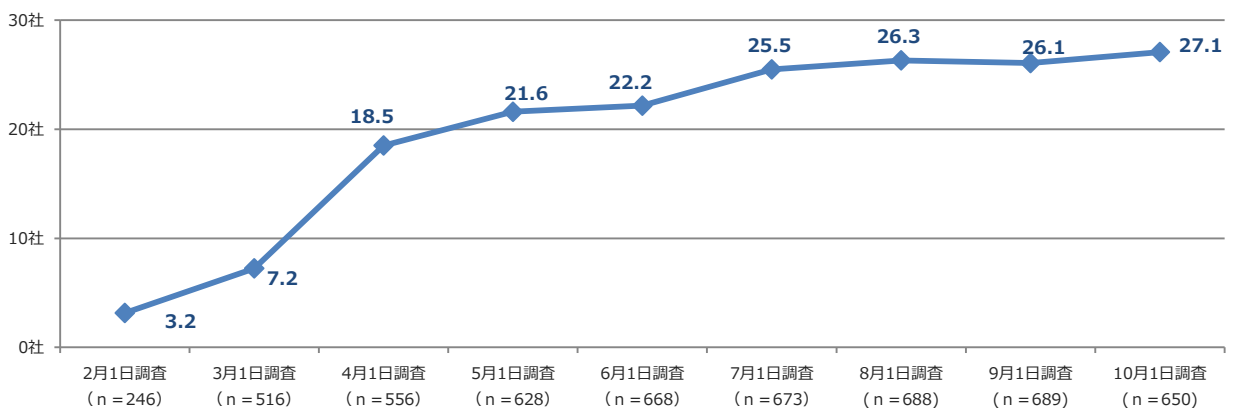
平均社数は27.1社となり、前年調査の35.1社より8.0社も少ない。属性別に見ると、女性よりも男性、理系よりも文系、中小企業志向や企業規模を意識していない学生よりも大企業志向の学生の方が、応募企業数が多くなっている。また、「内定あり」の学生は、「内定なし」の学生よりも応募企業数が多い。さらに、内定獲得社数が多いほど、応募企業数も多くなり、積極的に活動していた様子がうかがえる（表7）。

平均社数の推移を見ると、9月1日調査の26.1社から1.0社の増加に留まり、7月以降横ばいとなっている（図7）。

【表7】選考に応募した企業数：属性別

		0社	1～9社	10～19社	20～29社	30～49社	50社以上	平均
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(社)
前年調査	2017年卒 10月1日調査 全体 (n=650)	0.2	19.8	24.2	18.0	22.8	15.1	27.1
	2016年卒 10月1日調査 全体 (n=639)	0.5	18.6	16.6	16.4	21.8	26.1	35.1
	性別							
	男性 (n=274)	0.0	20.8	25.5	17.2	20.4	16.1	28.0
	女性 (n=376)	0.3	19.1	23.1	18.6	24.5	14.4	26.4
	文理別							
	文系 (n=472)	0.2	15.5	22.7	19.3	25.4	16.9	28.5
	理系 (n=178)	0.0	31.5	28.1	14.6	15.7	10.1	23.5
	対する企業規模に							
	大企業志向 (n=318)	0.0	13.5	21.4	18.9	27.0	19.2	31.3
中小企業志向 (n=180)	0.0	25.6	25.0	20.0	18.9	10.6	22.9	
企業の規模は全く意識していない (n=152)	0.7	26.3	28.9	13.8	18.4	11.8	23.1	
内定獲得状況別								
内定なし (n=52)	1.9	40.4	26.9	9.6	11.5	9.6	20.4	
内定あり計 (n=598)	0.0	18.1	23.9	18.7	23.7	15.6	27.7	
内定あり社数別								
1社 (n=232)	0.0	27.6	19.4	17.7	22.0	13.4	24.8	
2社 (n=170)	0.0	16.5	30.0	15.9	25.3	12.4	27.1	
3社以上 (n=196)	0.0	8.2	24.0	22.4	24.5	20.9	31.5	

【図7】選考に応募した企業数の推移／平均



エントリーシート・履歴書提出企業数

「1 就職活動の進捗状況」において、就職活動が「エントリー活動段階」以降に進んでいる学生に対し、10月1日までにエントリーシートや履歴書を提出した企業数を聞いた。結果は、「10～19社」と回答した学生が最も多く28.8%、次いで「30社以上」24.8%、「20～29社」20.5%となっている（表8）。

平均社数は19.2社で、前年調査の20.1社から0.9社減少した。推移を見ると、9月1日調査の18.4社から0.8社の増加となり、応募企業数と同様に増加幅はほぼ横ばいになっている（図8）。

【表8】エントリーシート・履歴書提出企業数：属性別

		0社	1社	5社	10社	20社	30社以上	平均
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(社)
前年調査	2017年卒 10月1日調査 全体 (n=650)	0.3	11.4	14.3	28.8	20.5	24.8	19.2
	2016年卒 10月1日調査 全体 (n=639)	0.5	14.1	14.1	24.4	20.7	26.3	20.1
	男女別							
	男性 (n=274)	0.4	11.7	15.0	27.7	19.3	25.9	19.7
	女性 (n=376)	0.3	11.2	13.8	29.5	21.3	23.9	18.9
	文理別							
	文系 (n=472)	0.2	8.7	13.1	28.4	22.0	27.5	20.4
	理系 (n=178)	0.6	18.5	17.4	29.8	16.3	17.4	16.2
	対する企業規模に							
	大企業志向 (n=318)	0.0	7.2	10.7	29.6	20.8	31.8	21.9
	中小企業志向 (n=180)	0.6	16.7	16.7	26.1	21.1	18.9	17.0
	企業の規模は全く意識していない (n=152)	0.7	13.8	19.1	30.3	19.1	17.1	16.2
	内定獲得状況別							
	内定なし (n=52)	1.9	26.9	28.8	13.5	15.4	13.5	14.1
内定あり計 (n=598)	0.2	10.0	13.0	30.1	20.9	25.8	19.7	
獲得社数別								
1社 (n=232)	0.4	17.2	15.9	22.8	20.7	22.8	17.9	
2社 (n=170)	0.0	9.4	11.8	38.8	17.6	22.4	17.9	
3社以上 (n=196)	0.0	2.0	10.7	31.1	24.0	32.1	23.2	

【図8】エントリーシート・履歴書提出企業数の推移／平均



面接選考企業数

「1 就職活動の進捗状況」において、就職活動が「面接・試験段階」以降に進んでいる学生に対し、10月1日までに面接の選考（グループワークやグループディスカッションも含む）を受けた企業数を聞いた。結果は、「10～19社」35.0%、「20社以上」27.4%、「5～9社」20.8%となっている。

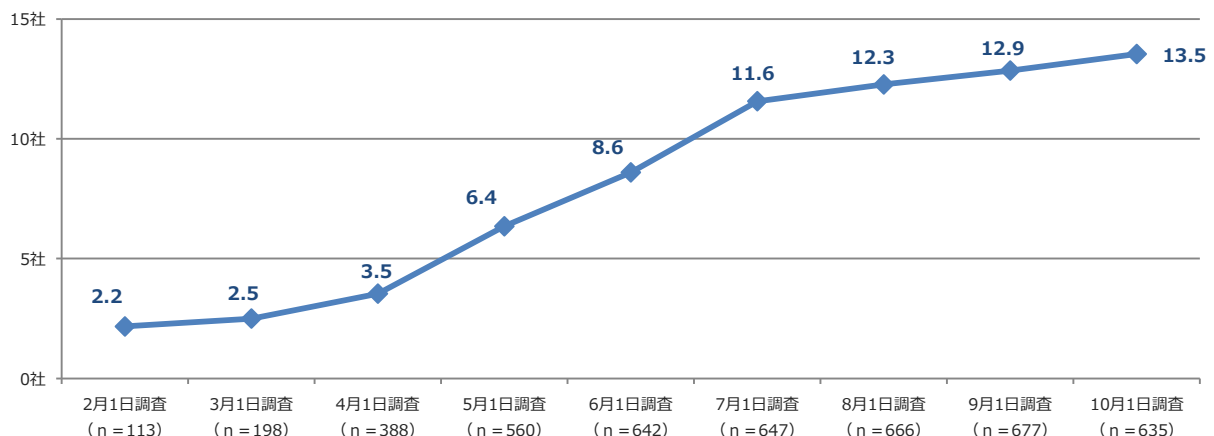
平均社数は13.5社で、前年調査の13.3社よりも0.2社増加している。応募企業数が前年から大幅減少となったにもかかわらず（表7）、面接選考企業数は前年と同水準となっている。属性別に見ると、男女別では男性が、文理別では文系が、企業規模に対する志向別では大企業志向の学生の方が平均社数が多い傾向にある。また、「内定あり」の学生の平均社数は「内定なし」の学生よりも多く、内定獲得社数が多い学生ほど平均社数も多くなっていた（表9）。

平均社数の推移を見ると、9月1日調査から0.6社の増加に留まった。応募企業数、エントリーシート・履歴書提出企業数と同様に、増加幅は緩やかになっている（図9）。

【表9】面接選考企業数：属性別

		0社	1社	5社	10社以上	20社以上	平均	
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(社)	
		n=30以上で 全体+10pt以上 全体+5pt以上 全体-5pt以下 全体-10pt以下						
2017年卒 10月1日調査 全体 (n=635)		0.2	16.7	20.8	35.0	27.4	13.5	
前年調査 2016年卒 10月1日調査 全体 (n=624)		0.3	21.2	20.2	32.2	26.1	13.3	
男女別	男性 (n=269)	0.4	15.2	20.4	31.6	32.3	14.6	
	女性 (n=366)	0.0	17.8	21.0	37.4	23.8	12.7	
文理別	文系 (n=460)	0.2	11.5	20.4	35.4	32.4	14.8	
	理系 (n=175)	0.0	30.3	21.7	33.7	14.3	10.3	
対する企業規模に	大企業志向 (n=314)	0.0	9.6	19.7	36.9	33.8	15.1	
	中小企業志向 (n=179)	0.0	26.8	20.1	34.1	19.0	12.0	
	企業の規模は全く意識していない (n=142)	0.7	19.7	23.9	31.7	23.9	12.0	
内定獲得状況別	内定なし (n=37)	2.7	27.0	27.0	24.3	18.9	11.7	
	内定あり (n=598)	0.0	16.1	20.4	35.6	27.9	13.7	
	1社獲得 (n=232)	0.0	26.7	21.6	28.4	23.3	11.7	
	2社獲得 (n=170)	0.0	14.7	23.5	35.9	25.9	13.0	
	3社以上 (n=196)	0.0	4.6	16.3	43.9	35.2	16.4	

【図9】面接選考企業数の推移／平均



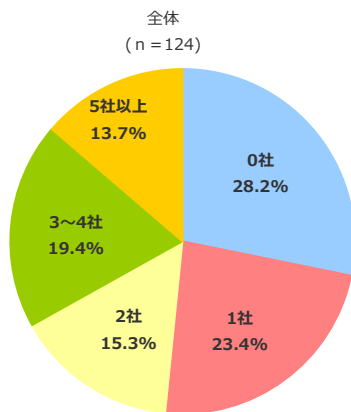
現在選考中の企業数

「1 就職活動の進捗状況」において、就職活動が「エントリー活動段階」以降に進んでおり、かつ活動を継続している学生に対し、10月1日時点で「選考中」（応募はしているが、選考途中であり最終的な結果が出ていない状態）の企業数を聞いた。最も多かった回答は「0社」で28.2%となっている（図10.1）。

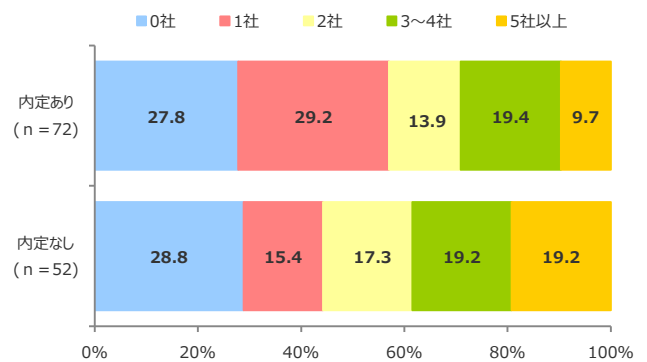
内定獲得状況別に見ると、「0社」と回答した学生の割合は、「内定あり」の学生では27.8%、「内定なし」の学生では28.8%とほぼ同程度となった。しかし、「内定なし」の学生は、「内定あり」の学生に比べ「1社」の回答割合が低く、かつ「5社以上」の割合が高くなっており、引き続き就職活動に取り組んでいる様子が見える（図10.2）。

平均社数は1.9社で、前回調査から0.5社減少した。推移を見ると、6月から減少傾向にあり、就職活動の終了ムードが感じられる結果となった（図10.3）。

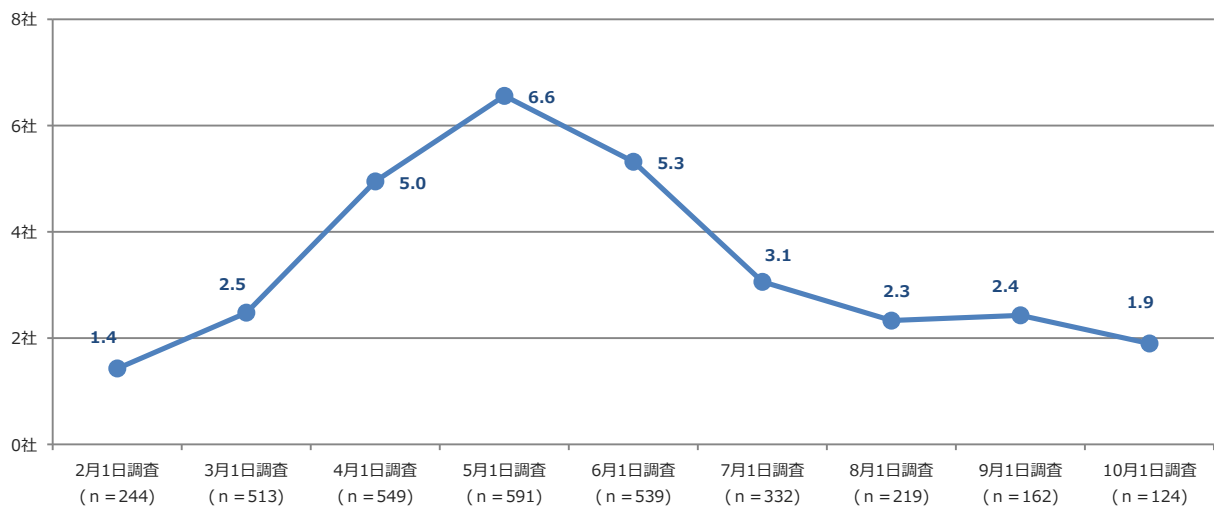
【図10.1】現在選考中の企業数



【図10.2】現在選考中の企業数：内定獲得状況別



【図10.3】現在選考中の企業数の推移／平均

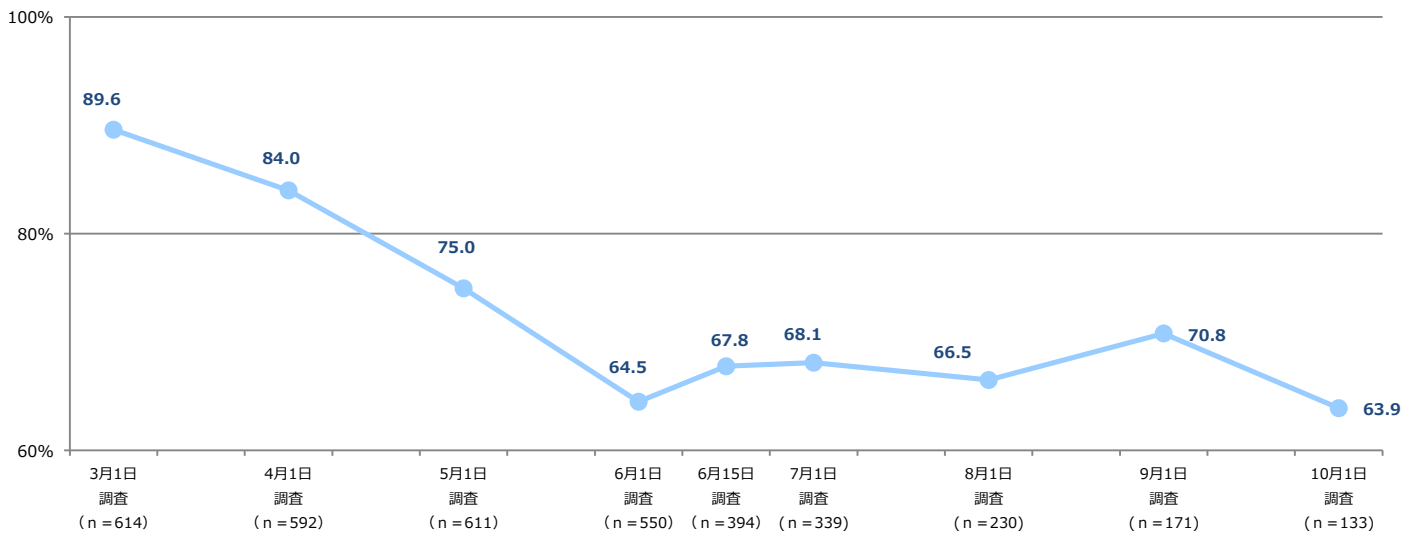


企業への新たな応募予定（10月）

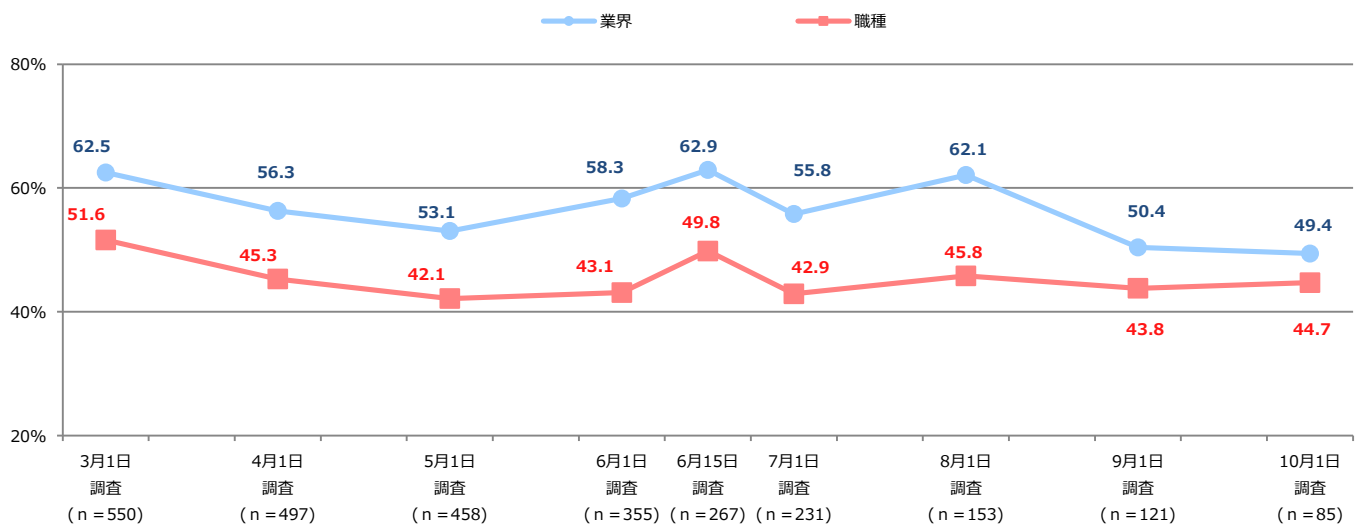
「1 就職活動の進捗状況」において、「内定獲得／就活終了段階」「まだ何も始めていない」以外の回答をした学生に対し、10月の就職活動において、新たに企業に応募する予定があるかを聞いた。「ある」と回答した学生の割合は63.9%で、前回調査から減少した（図11.1）。

さらに、新たに応募する予定が「ある」と回答した学生に、今まで興味がなかった“業界”や、興味がなかった“職種”も応募しようと考えているかを聞いた。「（応募しよう）と考えている」と回答した学生の割合は、“業界”では49.4%、“職種”では44.7%となった。新たな企業に目を向ける際には、“職種”よりも“業界”の視野を広げる学生の方が多いようだ（図11.2）。

【図11.1】 今月、新たに企業に応募する予定がある学生の割合：時系列



【図11.2】 今まで興味がなかった“業界”や“職種”も応募しようと考えている学生の割合：時系列



内定を獲得できなかった場合の進路

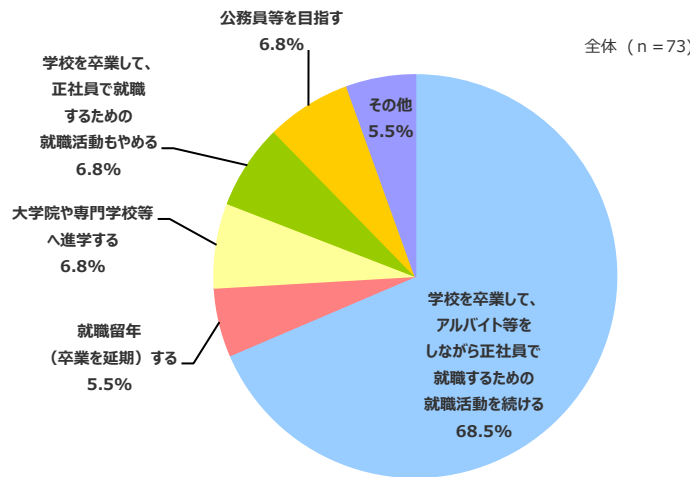
内定未獲得学生に対して、内定が獲得できなかった場合の進路をどのように考えているか聞いた。結果は、「学校を卒業して、アルバイト等をしながら正社員で就職するための就職活動を続ける」が68.5%を占めた（図12.1）。

前年調査※と比較すると、「学校を卒業して、アルバイト等をしながら正社員で就職するための就職活動を続ける」と回答した学生の割合が若干高くなっていた（図12.2）。

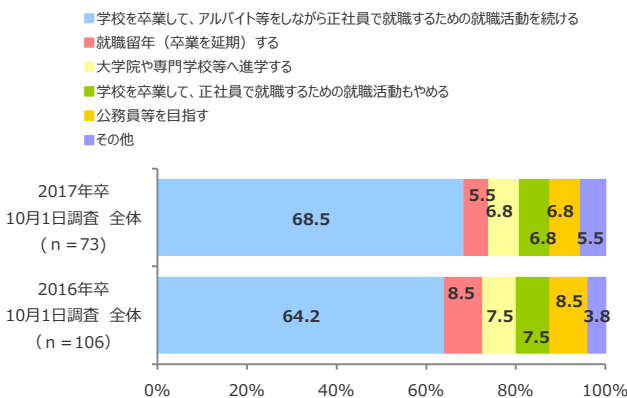
男女別に見ると、男性は女性よりも「学校を卒業して、アルバイト等をしながら正社員で就職するための就職活動を続ける」の割合が31.0ポイントも低い。その分、「大学院や専門学校等へ進学する」「学校を卒業して、正社員で就職するための就職活動もやめる」「公務員等を目指す」との回答が多くなっていた（図12.3）。

※2016年卒調査は「まだ何も始めていない」と回答した学生には未聴取

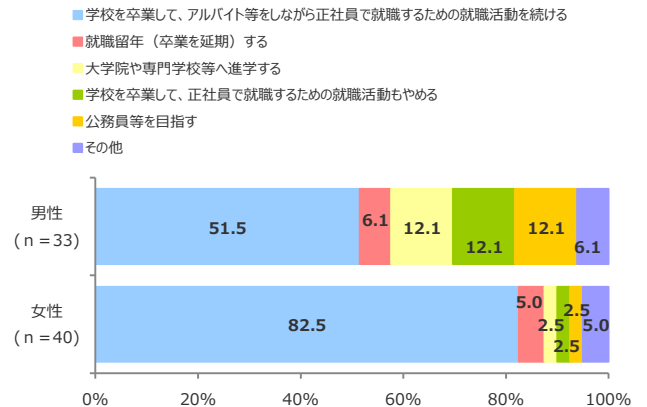
【図12.1】内定が獲得できなかった場合の進路をどのように考えているか



【図12.2】内定が獲得できなかった場合の進路をどのように考えているか：前年同時期との比較



【図12.3】内定が獲得できなかった場合の進路をどのように考えているか：男女別

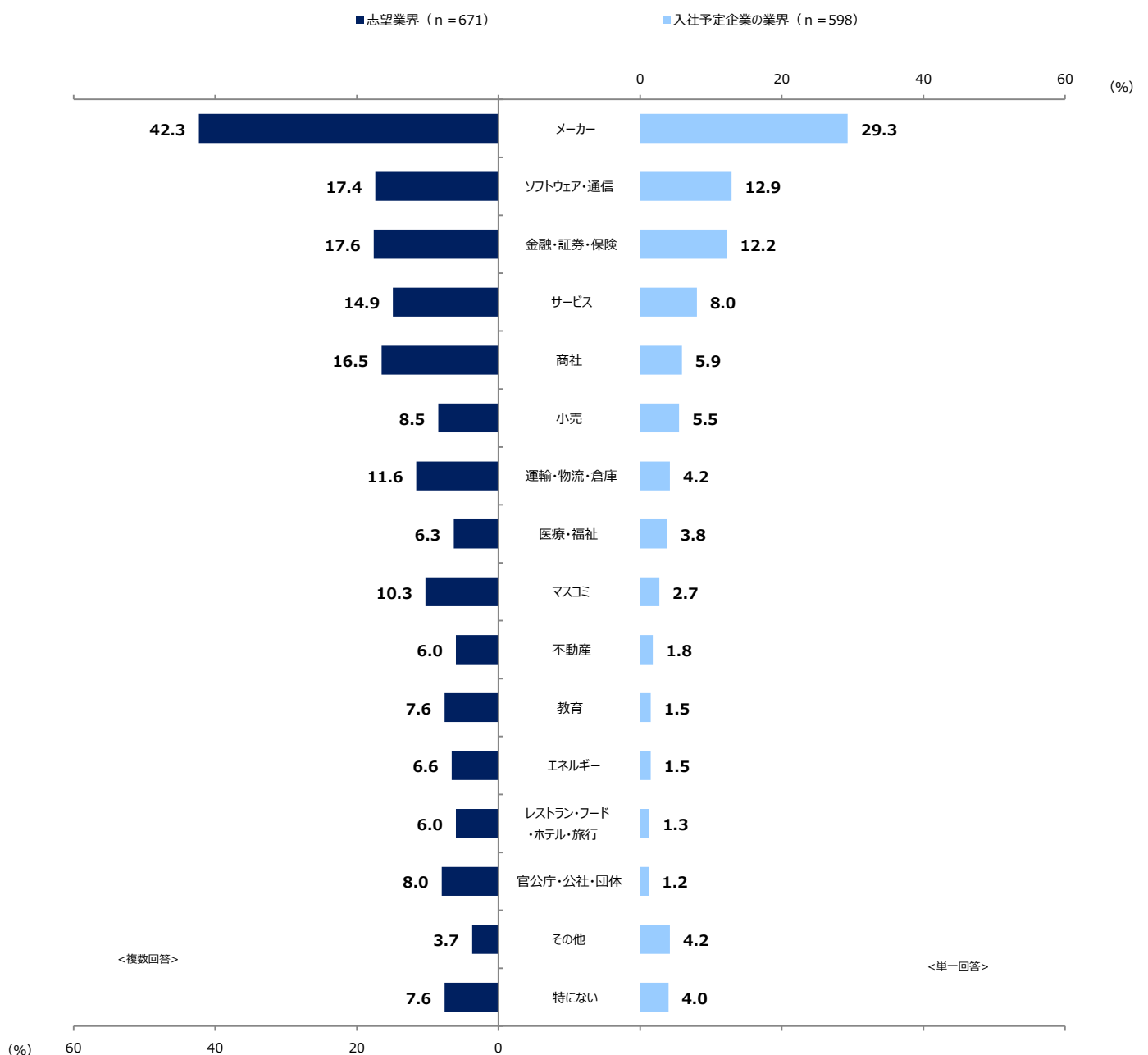


志望業界・ 入社予定企業の業界

学生に、10月1日時点の志望業界について聞くと、「メーカー」が突出して多く、42.3%となった。次いで、「金融・証券・保険」17.6%、「ソフトウェア・通信」17.4%、「商社」16.5%となった。

また、「2 内定獲得状況」において、10月1日時点で内定を獲得している学生に、入社予定企業の業界を聞いた。結果は、「メーカー」29.3%、「ソフトウェア・通信」12.9%、「金融・証券・保険」12.2%の順となっている（図13）。

【図13】志望している業界はどこか／入社予定企業の業界はどこか

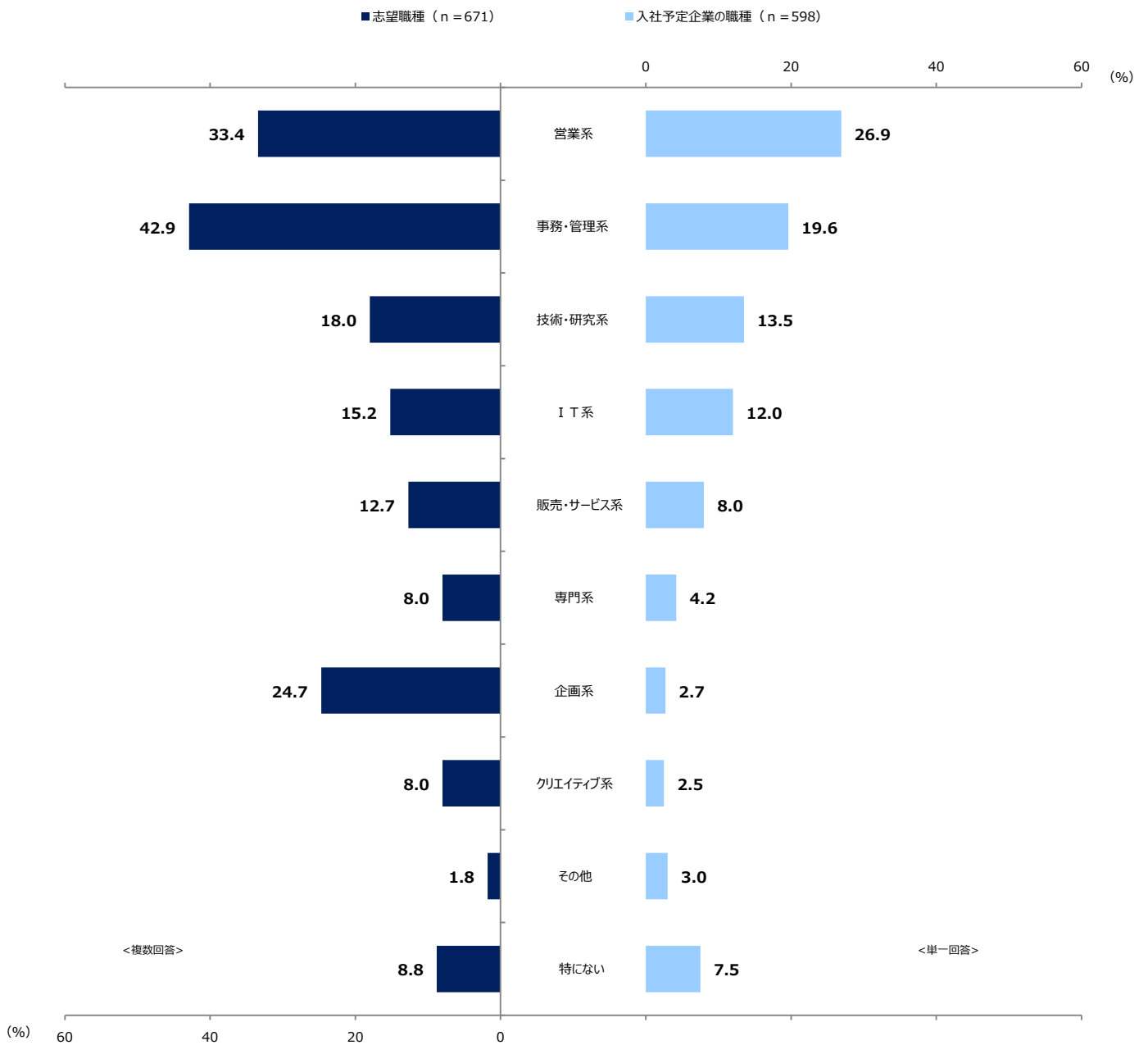


志望職種・ 入社予定企業の職種

学生に、10月1日時点の志望職種について聞くと、「事務・管理系」が42.9%と最も多く、続いて「営業系」33.4%、「企画系」24.7%、「技術・研究系」18.0%の順となった。

また、「2 内定獲得状況」において、10月1日時点で内定を獲得している学生に、入社予定企業で従事する職種を聞いた。結果は、「営業系」26.9%、「事務・管理系」19.6%、「技術・研究系」13.5%となっている（図14）。

【図14】 志望している職種は何か／入社予定企業で従事する職種は何か

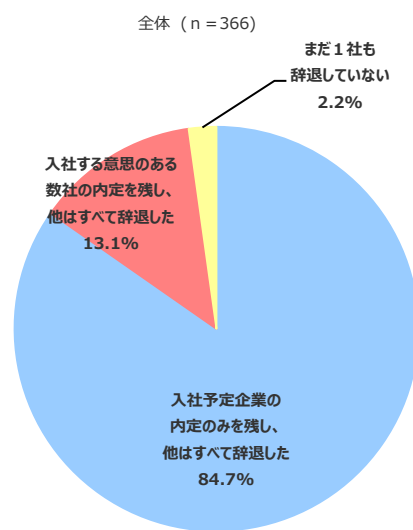


内定辞退の状況

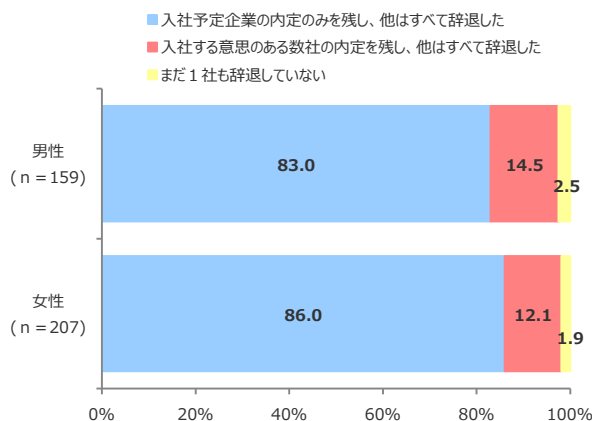
「2 内定獲得状況」において、10月1日時点で2社以上の内定を獲得している学生に対し、内定辞退の状況を聞くと、84.7%の学生が「入社予定企業の内定のみを残し、他はすべて辞退した」と回答した。一方、正式な内定の解禁となった10月1日時点でも、“数社の内定を残している”もしくは“1社も辞退していない”学生が15.3%存在している（図15.1）。

男女別、文理別では、大きな差は見られなかった（図15.2、図15.3）。

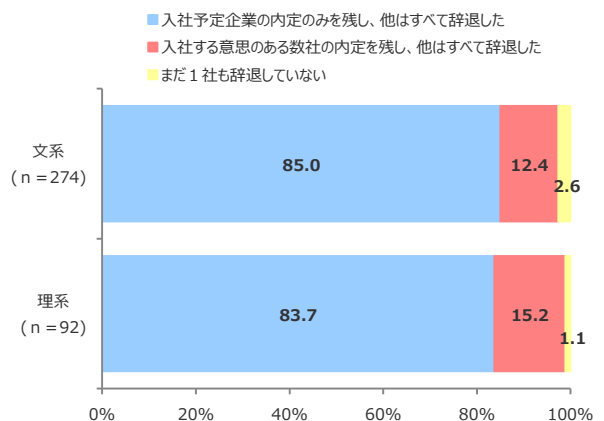
【図15.1】内定辞退の状況



【図15.2】内定辞退の状況：男女別



【図15.3】内定辞退の状況：文理別



内定獲得時期・就活終了時期

「2 内定獲得状況」において、10月1日時点で内定を獲得している学生に、「最初の内定」を獲得した時期を聞いた。最も多かった時期は「6月」で27.3%だった。次点は、「5月」で22.6%となっている。「2月以前」から「5月」の回答を合わせると46.3%となり、半数近い学生が選考活動解禁の6月より前に最初の内定を獲得していたようだ。入社予定企業の従業員規模別に見ると、規模の大きい企業に入社予定の学生ほど、早期から内定を獲得していた傾向がある。また、「6月」に最初の内定を獲得した学生の割合は、規模が大きくなるほど高くなっており、大企業が選考活動解禁時期を意識していたことがうかがえる（表16.1）。

また、「1 就職活動の進捗状況」において「内定獲得/就活終了段階」と回答した学生に、「入社予定企業から内定を獲得した時期」を聞いた。選考活動解禁時期である「6月」が39.2%と最多となっており、「7月」18.4%、「5月」16.9%と、6月前後に回答が集中している。入社予定企業の従業員規模別に見ると、規模が大きくなるほど、内定を出されたのが「6月」だったという学生の割合が高くなり、ここからも、大企業が「6月」の選考活動解禁を目安に内定を出し始めていたことがうかがえる（表16.2）。

さらに、「就職活動を終了した時期」を聞くと、「6月」が39.5%で回答が集中していた。それ以前の時期も合わせると、54.2%の学生が選考活動解禁後1カ月の6月末までに就職活動を終了していたことが見て取れる。入社予定企業の従業員規模別に見ると、規模が大きくなるほど、就職活動を「6月」に終了させたという学生の割合が高い傾向があり、特に「3,000人以上」の企業に入社予定の学生では57.8%に上る（表16.3）。

【表16.1】最初の内定を獲得した月

		2月以前	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体 (n=598)		3.3	7.2	13.2	22.6	27.3	12.5	7.5	5.7	0.7
男女別	男性 (n=251)	3.6	8.8	15.9	19.9	25.1	13.1	7.2	5.2	1.2
	女性 (n=347)	3.2	6.1	11.2	24.5	28.8	12.1	7.8	6.1	0.3
文理別	文系 (n=430)	2.8	7.4	14.2	21.6	26.0	12.1	8.4	7.0	0.5
	理系 (n=168)	4.8	6.5	10.7	25.0	30.4	13.7	5.4	2.4	1.2
従業員規模別	入社予定企業の規模別									
	299人以下 (n=161)	1.9	5.0	11.8	23.6	19.9	14.3	11.2	10.6	1.9
	300~999人 (n=145)	3.4	7.6	13.1	22.8	27.6	16.6	4.8	4.1	0.0
	1,000~2,999人 (n=105)	4.8	4.8	17.1	24.8	27.6	13.3	4.8	2.9	0.0
3,000人以上 (n=141)	5.0	12.8	14.9	20.6	34.8	6.4	4.3	1.4	0.0	

【表16.2】入社予定企業から内定を獲得した月

		2月以前	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体 (n=526)		0.8	1.5	7.2	16.9	39.2	18.4	8.7	7.2	0.0
男女別	男性 (n=219)	0.9	0.5	9.1	20.1	36.1	18.7	8.2	6.4	0.0
	女性 (n=307)	0.7	2.3	5.9	14.7	41.4	18.2	9.1	7.8	0.0
文理別	文系 (n=376)	0.8	1.9	7.2	14.4	40.4	17.8	8.5	9.0	0.0
	理系 (n=150)	0.7	0.7	7.3	23.3	36.0	20.0	9.3	2.7	0.0
従業員規模別	入社予定企業の規模別									
	299人以下 (n=135)	0.0	2.2	8.1	20.7	25.2	20.7	11.9	11.1	0.0
	300~999人 (n=135)	1.5	0.7	6.7	20.0	31.1	21.5	10.4	8.1	0.0
	1,000~2,999人 (n=95)	1.1	2.1	6.3	14.7	43.2	18.9	7.4	6.3	0.0
3,000人以上 (n=135)	0.7	1.5	8.1	14.1	58.5	10.4	4.4	2.2	0.0	

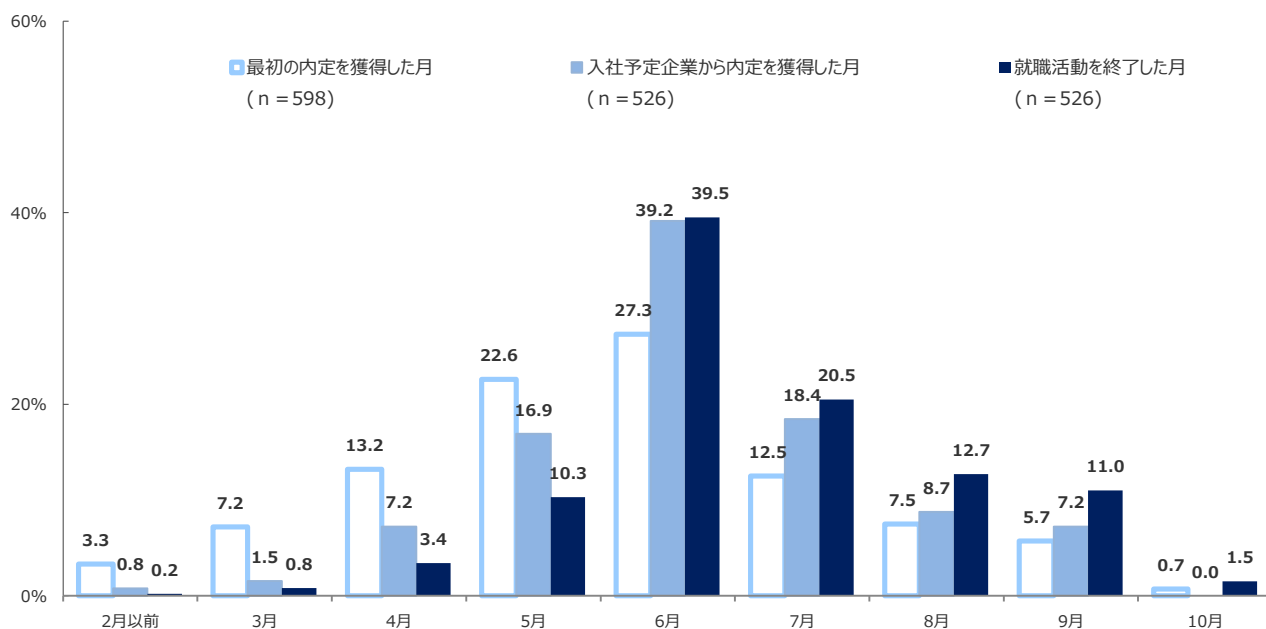
【表16.3】就職活動を終了した月

		2月以前	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体 (n=526)		0.2	0.8	3.4	10.3	39.5	20.5	12.7	11.0	1.5
男女別	男性 (n=219)	0.0	0.0	4.6	9.1	40.6	21.9	10.0	12.3	1.4
	女性 (n=307)	0.3	1.3	2.6	11.1	38.8	19.5	14.7	10.1	1.6
文理別	文系 (n=376)	0.0	0.8	3.5	8.8	38.8	20.7	13.6	12.2	1.6
	理系 (n=150)	0.7	0.7	3.3	14.0	41.3	20.0	10.7	8.0	1.3
従業員規模別	入社予定企業の規模別									
	299人以下 (n=135)	0.0	2.2	4.4	10.4	31.9	18.5	15.6	15.6	1.5
	300~999人 (n=135)	0.0	0.0	3.0	11.1	34.1	22.2	11.9	15.6	2.2
	1,000~2,999人 (n=95)	1.1	0.0	2.1	13.7	33.7	27.4	12.6	8.4	1.1
3,000人以上 (n=135)	0.0	0.7	4.4	8.9	57.8	15.6	8.9	3.7	0.0	

最初の内定・入社予定企業からの内定を獲得した時期と就職活動を終了した時期について、それぞれの動きを並べた。

入社予定企業から内定を獲得した月と就職活動を終了した月は、ともに「6月」がピークとなっている。大企業ほど選考解禁時期の6月を意識して内定出しをしていること（表16.1、表16.2）や、6割以上の学生が複数内定を獲得している状況を踏まえると（図2.2）、学生が早期から内定を保持しつつ大企業の選考結果を受けて就職活動の終了を判断している様子が見えらる（図16）。

【図16】内定獲得時期と就活終了時期

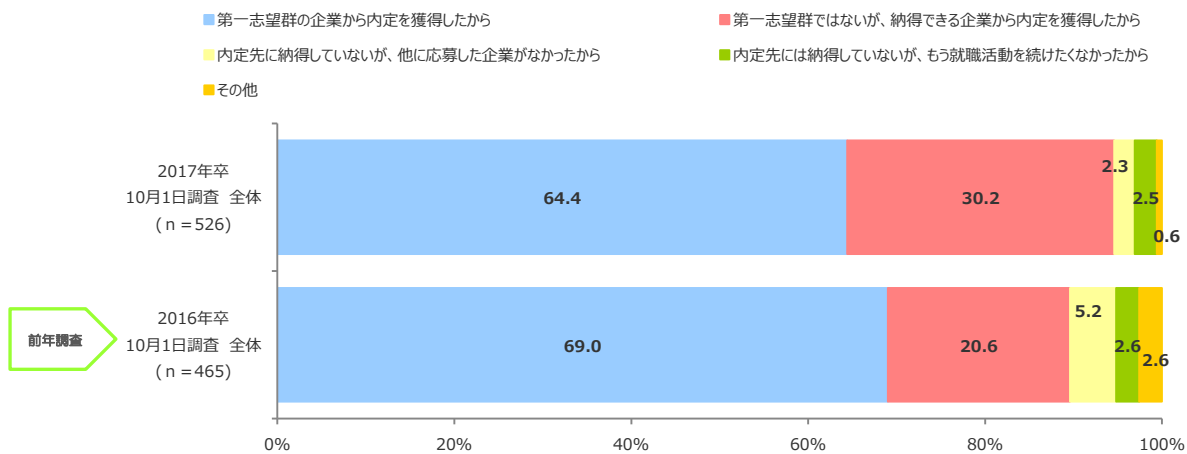


就職活動終了理由

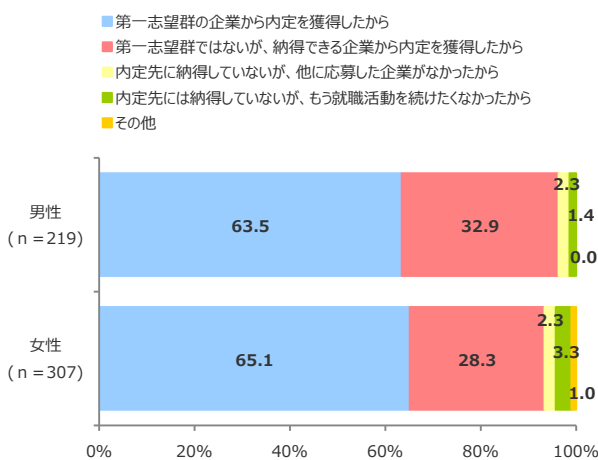
「1 就職活動の進捗状況」において、「内定獲得／就活終了段階」と回答した学生に、就職活動を終了した理由を聞いた。最も多かった理由は、「第一志望群の企業から内定を獲得したから」で64.4%となった。前年調査では69.0%となっており、若干低下している。次点は「第一志望群ではないが、納得できる企業から内定を獲得したから」で30.2%だった。こちらは、前年調査から9.6ポイント増加していた。2017年卒学生は、合わせると94.6%の学生が納得して就職活動を終了しており、その割合も前年より高いが、第一志望ではなくても納得できたとする学生が増えており、納得感のレベルが若干異なっているようだ（図17.1）。

属性別に見ると、男女別では男性の方が納得して就職活動を終了した割合が若干高い（図17.2）。また、入社予定企業の従業員規模別に見ると、「3,000人以上」の企業に入社予定の学生は、「第一志望群の企業から内定を獲得したから」が74.1%となり、他の規模の企業に入社予定の学生よりも大幅に高くなっている（図17.3）。

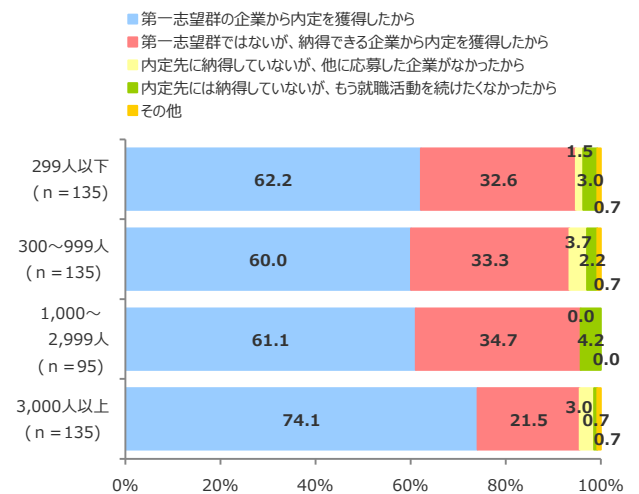
【図17.1】就職活動を終了した理由



【図17.2】就職活動を終了した理由：男女別



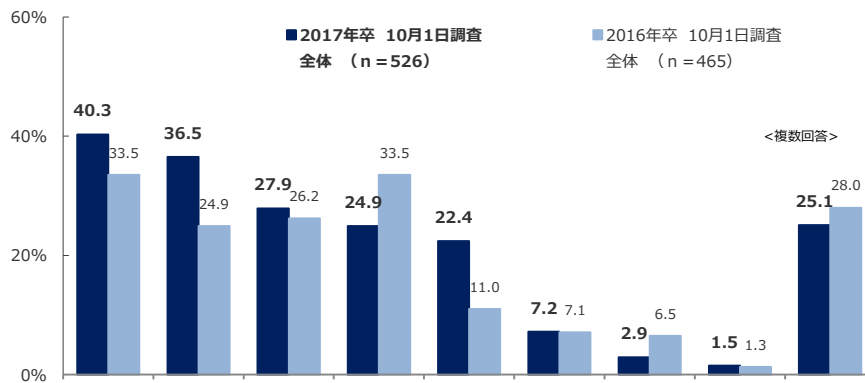
【図17.3】就職活動を終了した理由：入社予定企業の従業員規模別



内定ブルーの実態

「1 就職活動の進捗状況」において、「内定獲得／就活終了段階」と回答した学生に、入社予定企業を決定した後
に不安や憂鬱な気分（内定ブルー）になったことはあるかを聞いた。「ない」と回答した学生は25.1%に上ったが、残
りの74.9%は内定ブルーに陥った経験があるようだ。具体的には、「自分は社会人としてやっていけるのか」40.3%、
「入社予定企業の同期や社員とうまくやっていけるのか」36.5%、「入社予定企業の求める力が本当に自分にあるの
か」27.9%となっている。2016年卒学生と比べると、納得感のある就職活動（図17.1参照）が行なえたためか、
「もっと他によい企業があるのではないか」は大幅に減少している。就職活動が順調に進みすぎたためか、自身の未熟
さや能力について不安を感じる面もあるようだ（図18）。

【図18】入社予定企業を決定した後に不安や憂鬱な気分になったことはあるか



		や自分としては社会人として	入社予定企業との同期や社員と	入社予定企業に求める力が	もっと他にいい企業があるのか	社会人にはなりたくない	周囲の評定・評判が悪く家族や	志望した企業はなかった	その他	ない	平均回答個数
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(個)
2017年卒 10月1日調査 全体 (n=526)		40.3	36.5	27.9	24.9	22.4	7.2	2.9	1.5	25.1	1.6
前年調査 2016年卒 10月1日調査 全体 (n=465)		33.5	24.9	26.2	33.5	11.0	7.1	6.5	1.3	28.0	1.4
男女別	男性 (n=219)	35.6	30.1	22.8	21.9	15.5	5.5	2.3	1.4	31.1	1.4
	女性 (n=307)	43.6	41.0	31.6	27.0	27.4	8.5	3.3	1.6	20.8	1.8
文理別	文系 (n=376)	40.4	35.6	26.9	25.8	24.2	8.2	2.9	1.6	24.5	1.7
	理系 (n=150)	40.0	38.7	30.7	22.7	18.0	4.7	2.7	1.3	26.7	1.6
従業員規模別	299人以下 (n=135)	40.7	32.6	28.9	25.2	19.3	7.4	1.5	1.5	23.7	1.6
	300~999人 (n=135)	45.2	50.4	25.9	30.4	23.7	9.6	3.7	1.5	23.0	1.9
	1,000~2,999人 (n=95)	42.1	37.9	31.6	20.0	28.4	6.3	2.1	1.1	23.2	1.7
	3,000人以上 (n=135)	34.1	28.1	28.1	23.0	20.0	6.7	4.4	2.2	28.1	1.5

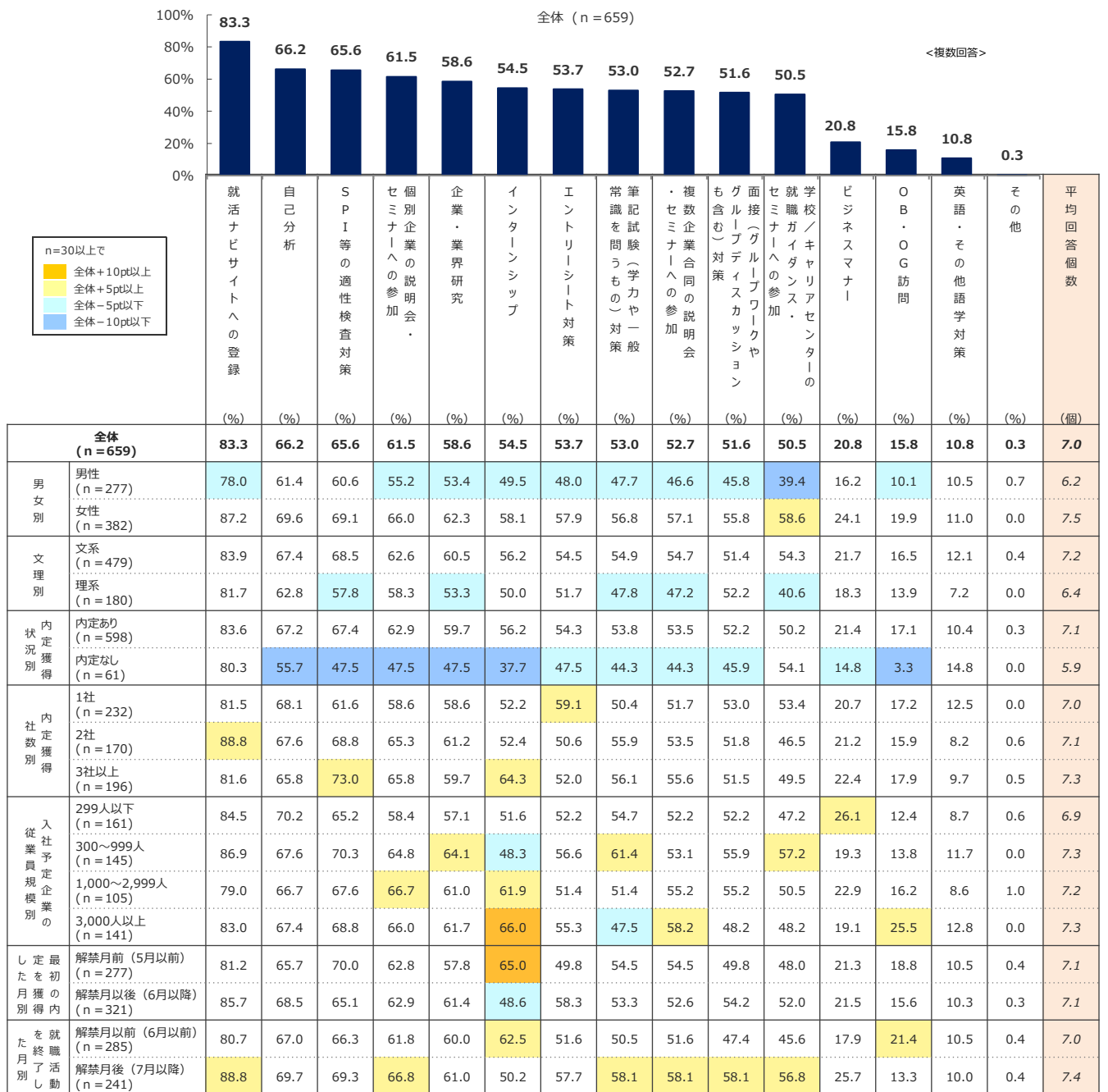
就職活動の準備・対策

「1 就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」以外の回答をした学生に、就職活動にあたって準備・対策に取り組んだものを聞いた。「就活ナビサイトへの登録」が83.3%で突出して高い。次いで「自己分析」66.2%、「SPI等の適性検査対策」65.6%、「個別企業の説明会・セミナーへの参加」61.5%の順となっている。

属性別に見ると、男性よりも女性の方が、理系よりも文系の方が、「内定なし」の学生よりも「内定あり」の学生の方が、また内定獲得社数の多い学生の方が平均回答個数が多く、さまざまな準備・対策を行っていたことがわかる。

「インターンシップ」に参加した学生の割合は、入社予定企業の従業員規模が1,000人以上の学生で高くなり、「3,000人以上」の企業に入社予定の学生にいたっては66.0%と特に高い。また、選考活動解禁より前（5月以前）に最初の内定を獲得していた学生や、選考解禁の6月末までに就職活動を終了した学生など、比較的順調に活動を行っていたと思われる学生は、「インターンシップ」に取り組んだ割合が高くなっていた（図19）。

【図19】就職活動の準備・対策



就職活動の準備・対策を 行なった時期

「19 就職活動の準備・対策」で回答したものについて、取り組んだ時期を聞いた。概ね、広報活動解禁の「2016年3月」やその前月の「2016年2月」に取り組み始めた学生が多い。「就活ナビサイトへの登録」は、インターンシップ情報などを盛り込んだ就活ナビサイトがあるためか「2015年6月」が最多となっている。また、「インターンシップ」は「2015年8月」が最も高くなっている（表20）。

【表20】就職活動の準備・対策を行なった時期

	2015年											2016年						
	3月以前	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	12月以前	1月	2月	広報活動解禁前	3月	4月	5月	6月以降
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
就活ナビサイトへの登録 (n=549)	16.2	2.9	5.1	22.8	4.4	4.4	4.9	6.4	2.7	6.9	76.7	3.1	5.8	85.6	12.0	1.5	0.7	0.2
自己分析 (n=436)	11.9	1.6	1.4	2.8	1.6	3.0	4.6	6.9	6.7	11.5	52.0	9.4	12.8	74.2	18.1	4.4	2.3	1.1
SPI等の適性検査対策 (n=432)	11.1	2.1	1.2	1.6	2.3	4.2	5.1	6.3	5.6	10.6	50.1	10.0	13.2	73.3	19.4	4.6	1.9	0.9
個別企業の説明会・ セミナーへの参加 (n=405)	8.9	2.5	0.5	0.5	0.2	1.2	0.5	3.0	1.0	4.9	23.2	7.9	10.6	41.7	47.2	7.7	2.0	1.5
企業・業界研究 (n=386)	10.6	1.8	1.3	2.6	1.3	2.8	3.4	6.5	4.1	9.8	44.2	10.1	15.0	69.3	23.1	3.9	2.1	1.6
インターンシップ (n=359)	12.8	1.4	0.8	5.8	7.5	27.6	9.2	4.5	3.3	7.5	80.4	3.1	11.7	95.2	2.5	0.6	0.6	1.1
エントリーシート対策 (n=354)	9.0	2.3	0.8	2.0	1.4	1.1	2.3	4.8	5.4	9.6	38.7	9.9	17.8	66.4	23.4	5.4	2.0	2.8
筆記試験（学力や一般 常識を問うもの）対策 (n=349)	10.0	3.2	2.0	3.2	2.0	4.0	4.6	5.2	4.9	11.5	50.6	8.6	12.0	71.2	18.6	6.3	2.3	1.7
複数企業合同の説明会・ セミナーへの参加 (n=347)	10.7	0.6	0.6	3.5	1.7	1.4	1.2	5.2	4.9	8.9	38.7	4.3	8.9	51.9	41.5	3.2	2.9	0.6
面接（グループワークやグループ ディスカッションも含む）対策 (n=340)	7.1	2.4	0.9	2.9	1.2	2.6	1.8	4.4	3.2	6.8	33.3	8.8	14.1	56.2	21.8	11.5	6.5	4.1
学校／キャリアセンターの 就職ガイダンス・セミナーへの参加 (n=333)	12.6	5.1	4.8	10.8	3.0	2.4	4.2	11.4	5.7	6.3	66.3	3.3	6.6	76.2	18.6	2.1	0.9	2.1
ビジネスマナー (n=137)	10.2	2.9	2.9	2.9	2.9	4.4	1.5	7.3	2.9	13.9	51.8	6.6	12.4	70.8	16.8	6.6	4.4	1.5
OB・OG訪問 (n=104)	7.7	2.9	1.9	1.0	1.9	3.8	1.9	2.9	1.9	11.5	37.4	5.8	13.5	56.7	22.1	11.5	4.8	4.8
英語・その他語学対策 (n=71)	33.8	2.8	1.4	2.8	1.4	7.0	4.2	4.2	4.2	9.9	71.7	5.6	4.2	81.5	15.5	2.8	0.0	0.0

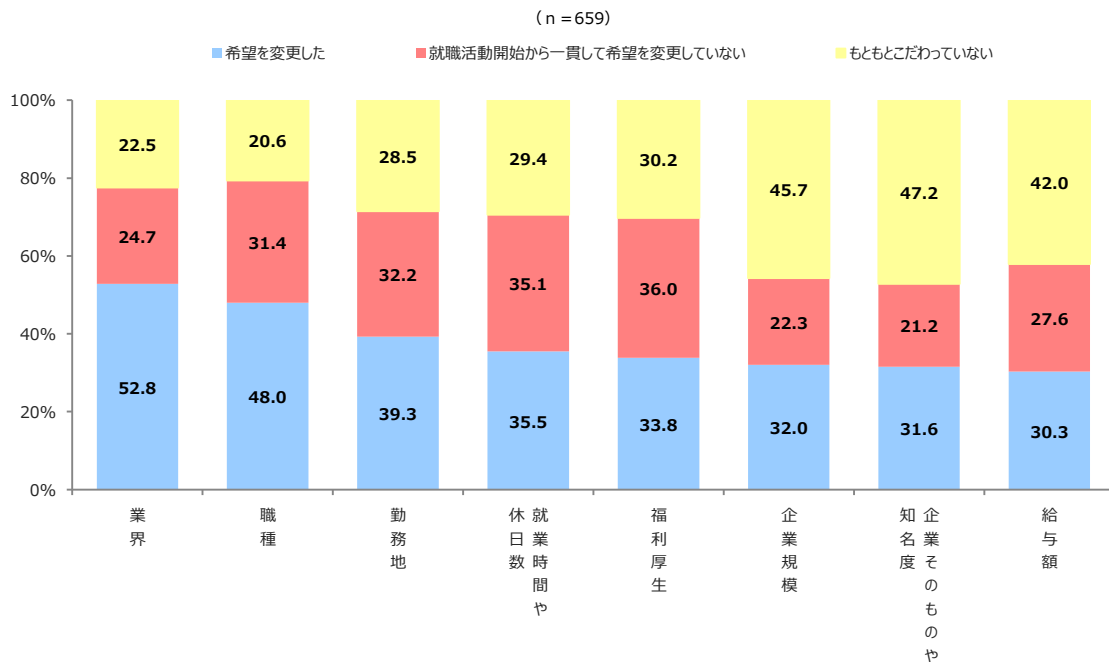
n=30以上で
項目内で1位
項目内で2位
項目内で3位

企業選びのこだわりは変化したか

「1 就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」以外の回答をした学生に、就職活動を進めていく中で、それまで希望していたりこだわっていた条件を広げた、もしくは変更したことはあったか聞いた。結果を見ると、「業界」と「職種」に対する希望やこだわりを変更した学生が多く、それぞれ52.8%、48.0%となった（図21）。

また、それぞれの項目に対する希望やこだわりを変更した学生に、変更を考えた時期を聞くと、広報活動が解禁された「2016年3月」や前月の「2016年2月以前」が多い傾向があった。比較的早期から就職活動を行なっている学生がいるためか、希望やこだわりも早くから変化しているようだ（表21）。

【図21】就職活動を進めていく中で、当初の希望やこだわりを変更した条件



【表21】就職活動を進めていく中で、当初の希望やこだわりを変更した時期

項目	2月以前	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
業界 (n=348)	18.4	28.4	19.0	12.9	12.4	4.3	2.6	1.7	0.3
職種 (n=316)	17.4	24.4	18.0	13.9	15.8	4.4	4.1	1.3	0.6
勤務地 (n=259)	22.4	18.9	16.2	13.5	15.8	6.2	3.9	2.3	0.8
企業規模 (n=211)	17.5	24.2	20.4	13.7	12.3	5.7	3.3	2.8	0.0
給与額 (n=200)	17.5	28.0	15.5	15.5	11.0	7.0	5.0	0.5	0.0
就業時間や休日数 (n=234)	21.8	23.1	14.5	12.8	13.2	6.4	4.3	3.4	0.4
福利厚生 (n=223)	21.5	22.4	17.5	13.0	13.9	6.3	3.6	1.8	0.0
企業そのものや知名度 (n=208)	18.8	22.6	16.3	15.9	14.9	7.7	1.9	1.0	1.0

n=30以上で
 ■ 項目内で1位
 ■ 項目内で2位
 ■ 項目内で3位

企業に評価されたと思うもの

「1 就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」以外の回答をした学生に、企業に評価されたと思うものについて聞いた。最も回答を集めたのは、「人柄・性格」で54.6%に上る。次いで、「学生時代に行なった課外活動（サークル・部活動等）」30.8%、「身だしなみ・立ち居振る舞い」26.4%、「アルバイト経験」25.6%の順となった。

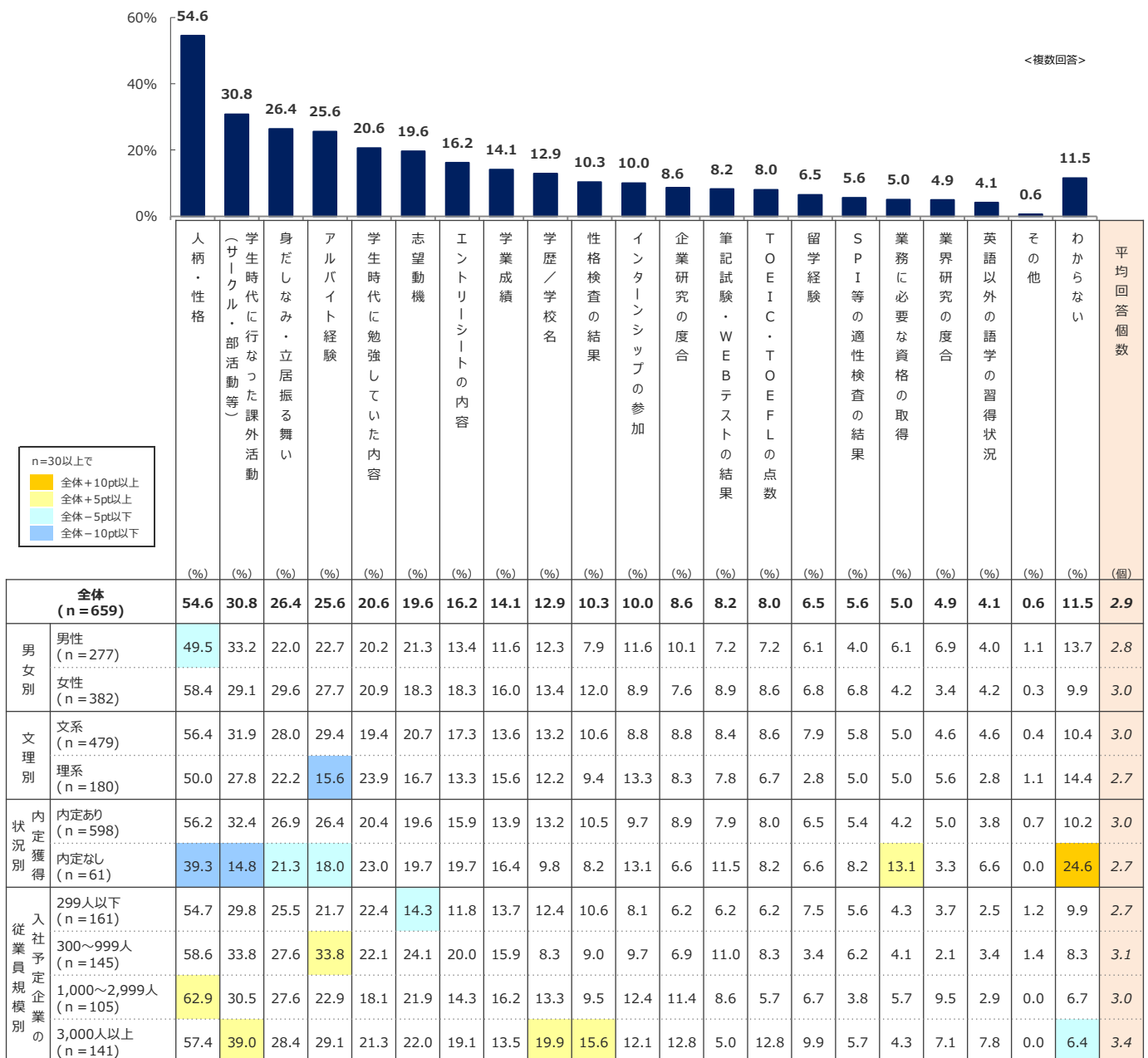
男女別に見ると、女性は男性よりも平均回答個数が多く、評価されたと自信があることがうかがえる。特に、「人柄・性格」については、男性と10ポイント近い差がついている。

文理別に見ると、理系は文系よりも平均回答個数が少ない。「アルバイト経験」については、研究等で費やす時間が少ないためか、文系と大きな差が生じていた。

内定獲得状況別に見ると、「内定なし」の学生は、「わからない」が24.6%と「内定あり」の学生よりも大幅に高い。平均回答個数も少なく、内定を得られない苦悩が滲み出ている。

入社予定企業の従業員規模別に見ると、規模の大きい企業に入社予定の学生ほど、評価されたと感じるものが多い傾向があった（図22）。

【図22】企業に評価されたと思うもの



就職活動の反省・後悔

「1 就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」以外の回答をした学生に、就職活動における反省・後悔について聞いた。21.1%の学生は「反省・後悔することはない」と回答したが、78.9%の学生には何かしらの反省・後悔があったようだ。具体的には、「面接対策が不十分だった」34.1%、「企業・業界研究が不十分だった」30.2%、「自己分析が不十分だった」29.7%が挙げられている。

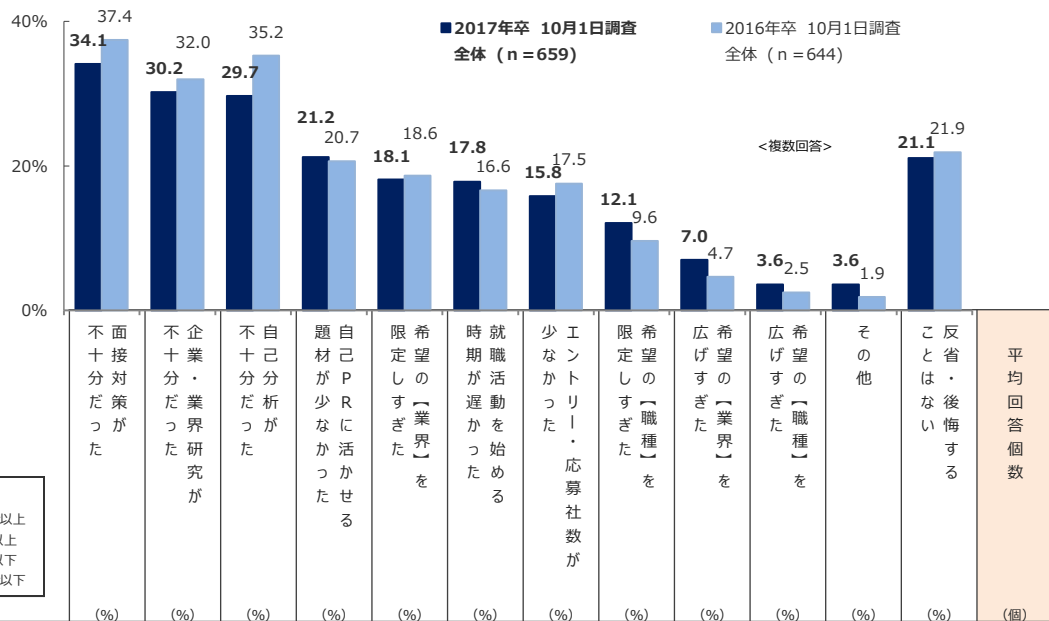
男女別に見ると、女性は男性よりも活動時期の遅れや、業界・職種への固執が反省・後悔として挙げられている。

文理別に見ると、文系は理系よりも平均回答個数が多く、反省・後悔が多い。特に、業界への固執、活動時期の遅れに問題を感じたようだ。

内定獲得状況別に見ると、「内定なし」の学生は「内定あり」の学生に比べて平均回答個数が多い。反省点としては、具体的な選考への対策不足に加え、エントリー・応募社数の少なさを挙げている。

入社予定企業の従業員規模別に見ると、規模の大きい企業に入社予定の学生ほど反省・後悔は少なくなる傾向があった(図23)。

【図23】就職活動の反省・後悔



	2017年卒 10月1日調査 全体 (n=659)													
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(個)	
前年調査	2016年卒 10月1日調査 全体 (n=644)													
男女別	男性 (n=277)	35.0	29.6	31.4	22.7	15.5	14.8	14.8	9.4	5.8	4.0	2.5	20.2	1.9
	女性 (n=382)	33.5	30.6	28.5	20.2	19.9	19.9	16.5	14.1	7.9	3.4	4.5	21.7	2.0
文理別	文系 (n=479)	33.4	30.1	29.9	20.9	20.5	20.5	16.9	13.4	7.3	4.0	3.8	19.4	2.0
	理系 (n=180)	36.1	30.6	29.4	22.2	11.7	10.6	12.8	8.9	6.1	2.8	3.3	25.6	1.7
状況別	内定あり (n=598)	33.4	30.9	29.4	20.4	18.2	17.4	14.7	11.2	7.2	3.0	3.5	22.1	1.9
	内定なし (n=61)	41.0	23.0	32.8	29.5	16.4	21.3	26.2	21.3	4.9	9.8	4.9	11.5	2.3
従業員規模別	299人以下 (n=161)	36.6	32.9	31.1	25.5	19.9	17.4	16.8	14.3	5.6	0.6	2.5	16.1	2.0
	300~999人 (n=145)	35.9	31.0	36.6	24.1	24.8	17.2	19.3	19.3	6.9	6.2	4.1	20.7	2.3
	1,000~2,999人 (n=105)	35.2	33.3	27.6	18.1	14.3	18.1	12.4	3.8	11.4	2.9	4.8	21.9	1.8
	3,000人以上 (n=141)	26.2	30.5	24.1	14.2	15.6	14.9	12.8	6.4	6.4	2.1	2.8	25.5	1.6

就職活動における相談相手

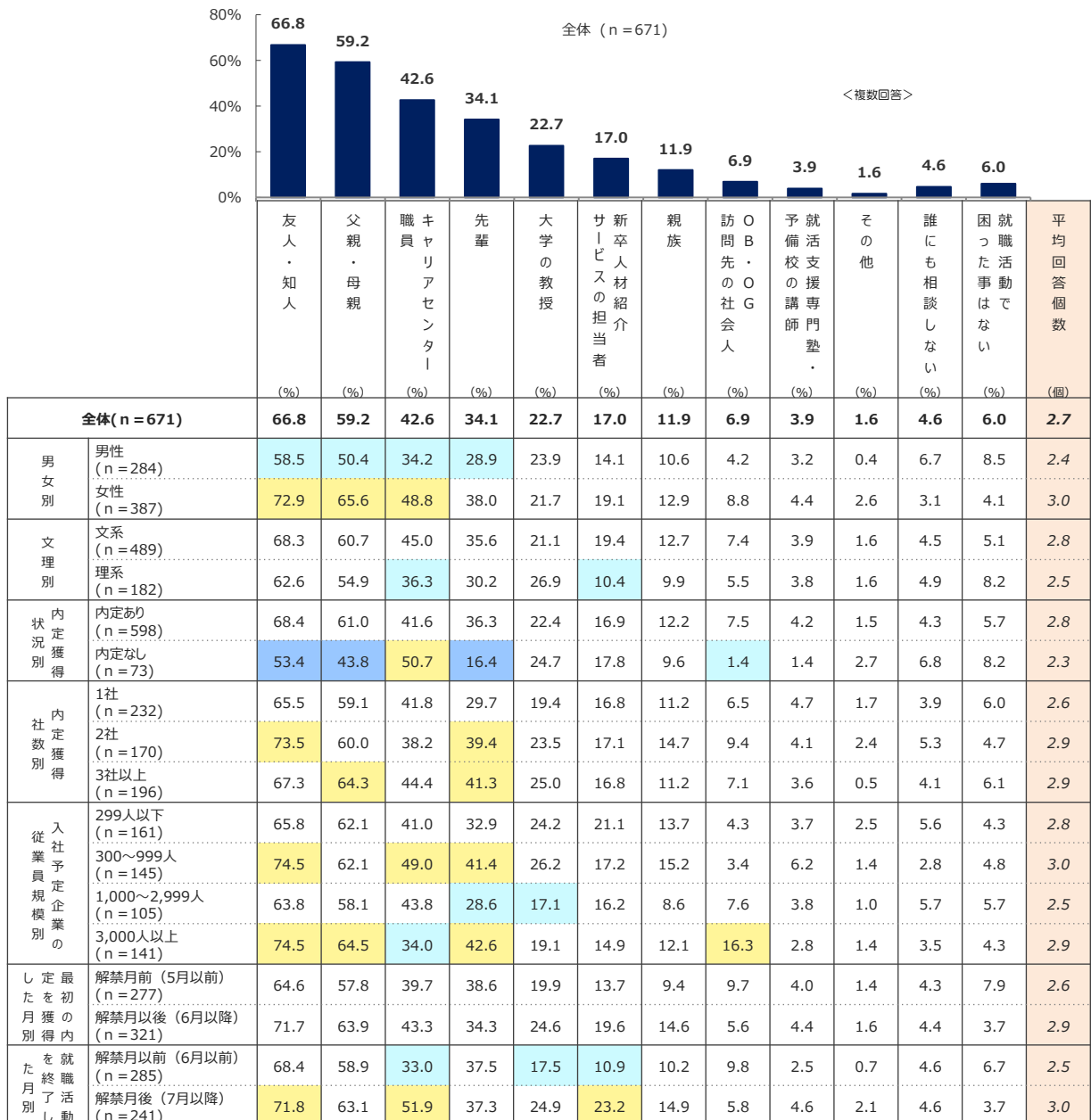
学生に、就職活動に関する相談を誰にしたかを聞いた。全体では、「友人・知人」という回答が多く、66.8%だった。次いで「父親・母親」59.2%、「キャリアセンター職員」42.6%、「先輩」34.1%の順となっている。

男女別で見ると、女性は「友人・知人」や「父親・母親」「キャリアセンター職員」に相談している割合が男性よりも大幅に高い。

内定獲得社数別に見ると、「内定あり」の学生の方が「内定なし」の学生よりも平均回答個数が多く、より多くの人に相談し、アドバイスを得ている傾向がある。

就職活動を終了した月別に見ると、選考活動解禁後に就職活動を終了した学生の方が、平均回答個数が多い。特に、「キャリアセンター職員」や「新卒人材紹介サービスの担当者」でその回答割合が高くなっている（図24）。

【図24】就職活動に関する相談を誰にするか



キャリアセンターの利用状況

学生に、大学のキャリアセンターの利用状況を聞いた。「ある」と回答した学生は69.6%に上る(図25)。男女別で見ると、男性よりも女性の利用率が高い。また、「内定なし」の学生の方が「内定あり」の学生よりも利用率が高くなっていった(表25.1)。

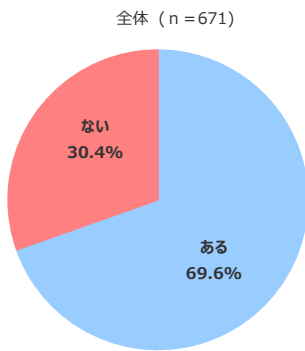
また、キャリアセンターを利用したことが「ある」学生の利用目的は、「エントリーシートや履歴書の添削」が47.3%で最も高くなっていった。

内定獲得状況別に見ると、「内定あり」の学生は、「内定なし」の学生よりも具体的な選考対策を目的として利用している割合が高いのに対し、「内定なし」の学生は「内定あり」の学生よりも「相談」目的での利用率が高くなっている。

最初の内定を獲得した月別に見ると、「選考解禁月前(5月以前)」に最初の内定を獲得した学生は、そうでない学生よりも「内定辞退やオワハラに関する相談」の回答割合が高くなっているのが特徴的である。

就職活動を終了した月別に見ると、「選考解禁月以前(6月以前)」の学生が、具体的な選考対策が上位に挙がるのに対し、「選考解禁月後(7月以降)」に就職活動を終了した学生は、「就職活動の悩みや愚痴」「求人票の閲覧」「就職活動の全体の流れや進め方に関する相談」が上位に挙がっており、利用目的が異なっている(表25.2)。

【図25】キャリアセンター等を利用したことはあるか



【表25.1】キャリアセンター等を利用したことはあるか：属性別

		ある (%)	ない (%)
全体 (n=671)		69.6	30.4
男女別	男性 (n=284)	62.0	38.0
	女性 (n=387)	75.2	24.8
内定獲得状況別	内定あり (n=598)	69.1	30.9
	内定なし (n=73)	74.0	26.0
最初の内定を獲得した月別	解禁日前 (5月以前) (n=277)	65.3	34.7
	解禁日以降 (6月以降) (n=321)	72.3	27.7
就職活動を終了した月別	解禁月以前 (6月以前) (n=285)	61.8	38.2
	解禁月後 (7月以降) (n=241)	75.5	24.5

【表25.2】キャリアセンター等を利用した内容

		履歴書の添削 エントリーシートや 履歴書の添削	就職活動の悩みや愚痴	求人票の閲覧	選考の練習等の 模擬面接等の	自己分析に関する 相談	進め方に 関する 相談	企業選 びに 関する 相談	グループ ワーク・ ディス カッション の練習	業界 研究や 企業 研究に 関する 相談	イン ター ン シ ッ プ の 相 談	内 定 辞 退 や オ ワ ハ ラ に 関 する 相 談	適 性 検 査 や 筆 記 試 験 に 関 する 相 談	O B ・ O G の 取 材 や 相 談	そ の 他	平均 回 答 個 数
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(個)
全体 (n=467)		47.3	30.2	26.6	25.9	25.5	23.6	23.6	17.3	16.9	13.1	12.4	11.8	10.1	1.1	2.9
男女別	男性 (n=176)	43.2	22.7	23.3	23.3	22.7	18.8	18.2	13.1	18.2	10.2	11.9	13.1	9.1	0.0	2.5
	女性 (n=291)	49.8	34.7	28.5	27.5	27.1	26.5	26.8	19.9	16.2	14.8	12.7	11.0	10.7	1.7	3.1
内定獲得 状況別	内定あり (n=413)	47.7	29.3	24.5	26.6	26.4	24.2	22.8	18.4	16.2	13.1	13.6	11.9	10.7	1.2	2.9
	内定なし (n=54)	44.4	37.0	42.6	20.4	18.5	18.5	29.6	9.3	22.2	13.0	3.7	11.1	5.6	0.0	2.8
最初の内定を 獲得した月別	解禁月前 (5月以前) (n=181)	50.3	30.4	21.0	27.1	29.8	21.5	26.5	18.2	17.7	14.9	22.7	12.7	10.5	0.0	3.0
	解禁日以降 (6月以降) (n=232)	45.7	28.4	27.2	26.3	23.7	26.3	19.8	18.5	15.1	11.6	6.5	11.2	10.8	2.2	2.7
就職活動を 終了した月別	解禁月以前 (6月以前) (n=176)	46.0	22.2	17.6	26.7	26.1	17.6	18.8	19.3	16.5	15.9	14.2	8.5	11.9	0.0	2.6
	解禁月後 (7月以降) (n=182)	49.5	36.8	29.7	27.5	26.4	28.6	24.7	16.5	16.5	9.3	12.6	12.6	9.9	2.7	3.0

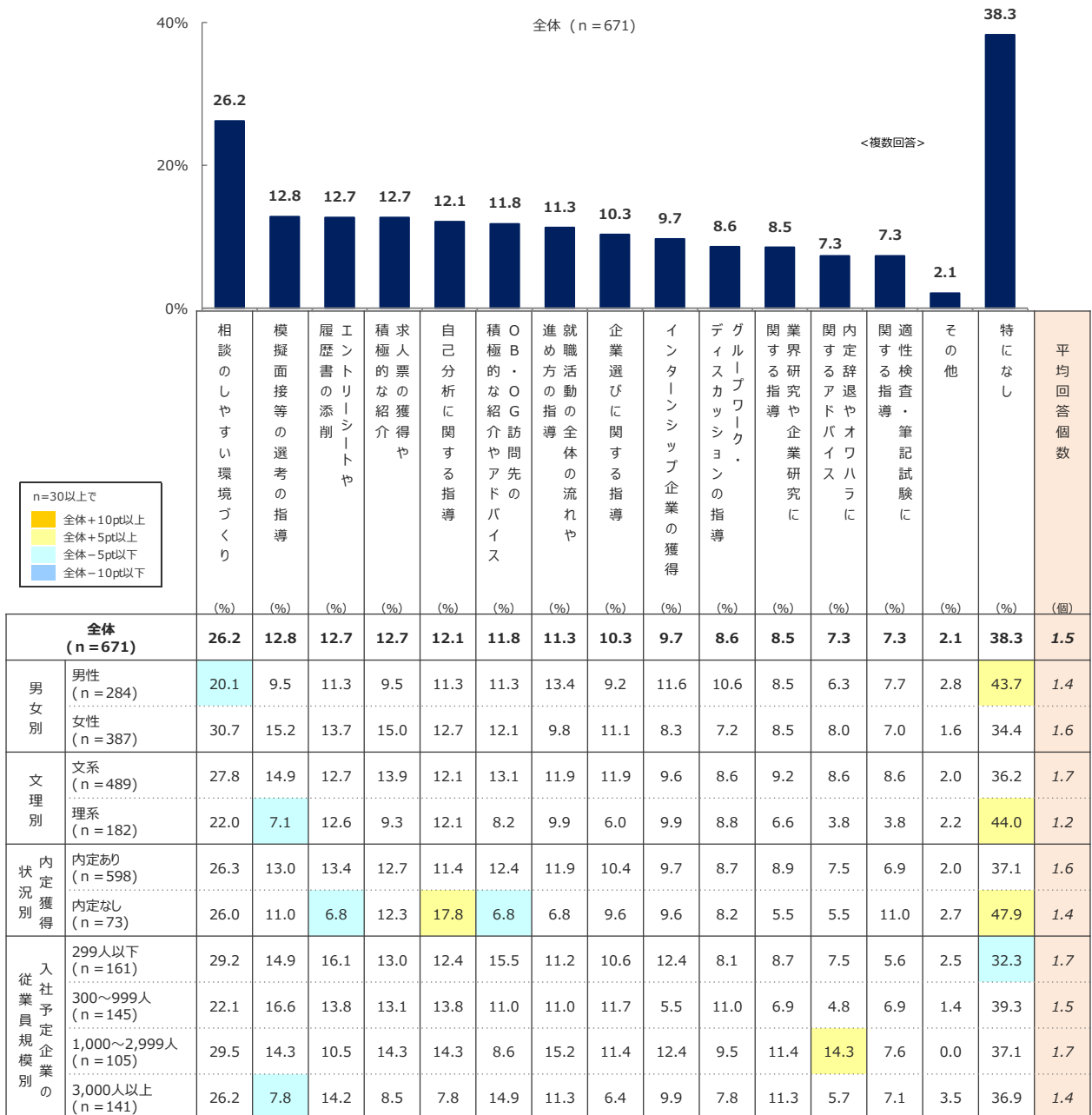
キャリアセンターに 力を入れてほしいこと

学生に、キャリアセンターにもっと力を入れてほしいことを聞いた。「特になし」38.3%を除いて、1位は「相談のしやすい環境づくり」で、26.2%と突出していた。次いで、「模擬面接等の選考の指導」12.8%、「エントリーシートや履歴書の添削」と「求人票の獲得や積極的な紹介」が同率で12.7%と続いている。

男女別に見ると、男性よりも女性の方が、キャリアセンターに対する要望は多く、特に「相談のしやすい環境づくり」を期待する割合が高い。

内定獲得状況別に見ると、「内定なし」の学生は「内定あり」の学生よりも、「特になし」の回答割合が高く、キャリアセンターへの要望が少ない。そのような中でも「自己分析に関する指導」は、「内定あり」学生よりも回答割合が高く、指導を期待しているようだ（図26）。

【図26】キャリアセンター等にもっと力を入れてほしいこと



働く上で大切にしたいもの

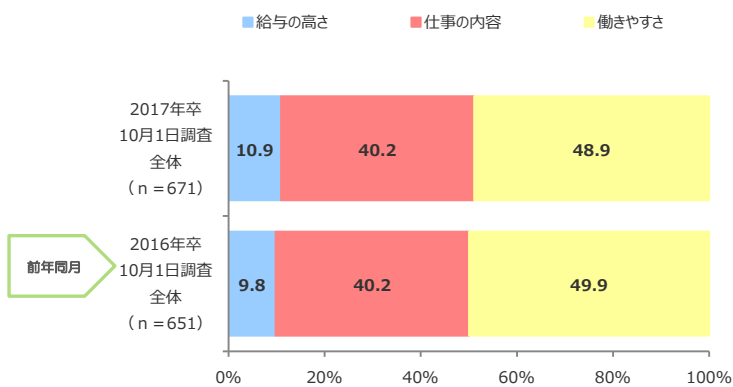
学生に、「給与の高さ」「仕事の内容」「働きやすさ」の3つのうち、働く上で大切にしたいと思うものを1つ挙げてもらった。結果は、「給与の高さ」10.9%、「仕事の内容」40.2%、「働きやすさ」48.9%となり、「働きやすさ」に重きを置きたいと考えている学生が最も多かった。前年調査と比較しても、大きな変化は見られなかった（図27.1）。

男女別に見ると、女性は、「働きやすさ」と回答した者の割合が高く53.2%、男性とは10.2ポイントの差が開いている。一方、男性は、「給与の高さ」を挙げた者の割合が14.4%となり、女性よりも6.1ポイント高い（図27.2）。

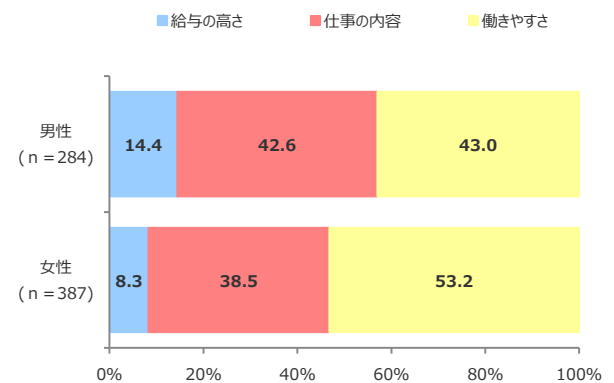
内定獲得状況別に見ると、「内定あり」の学生のうち「働きやすさ」に重きを置きたいと考えている学生は47.7%だった。一方、「内定なし」の学生では58.9%と「内定あり」の学生より11.2ポイントも高く、その分、「仕事の内容」に重きを置きたいと考える学生の割合は低くなっている（図27.3）。

入社予定企業の従業員規模別に見ると、規模の大きい企業に入社予定の学生ほど「働きやすさ」に重きを置きたいと考える学生の割合は減少傾向となる。特に、「3,000人以上」の企業に入社予定の学生は、他の規模の企業に入社予定の学生に比べて回答割合が最も低い。その分「仕事の内容」に重きを置きたいと考えている学生の割合が高く、約半数の49.6%を占めていた（図27.4）。

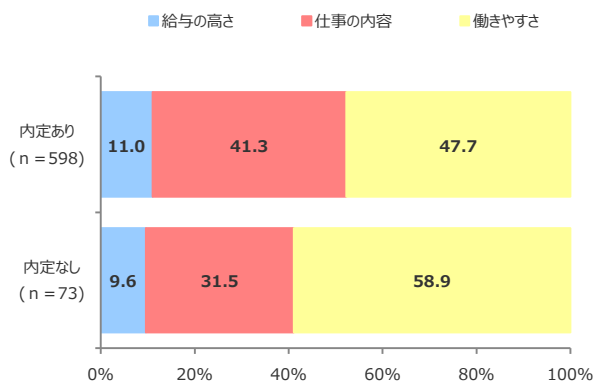
【図27.1】働く上で大切にしたいもの：前年同期との比較



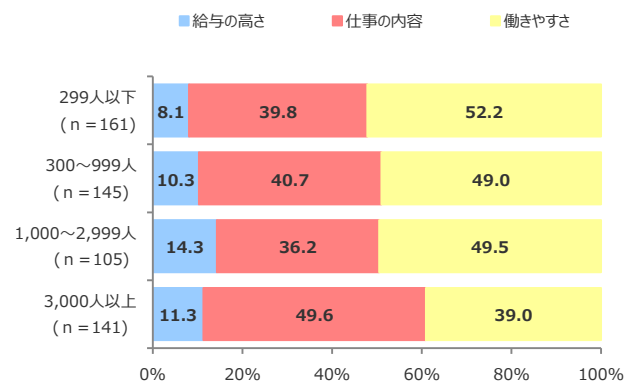
【図27.2】働く上で大切にしたいもの：男女別



【図27.3】働く上で大切にしたいもの：内定獲得状況別



【図27.4】働く上で大切にしたいもの：入社予定企業の従業員規模別

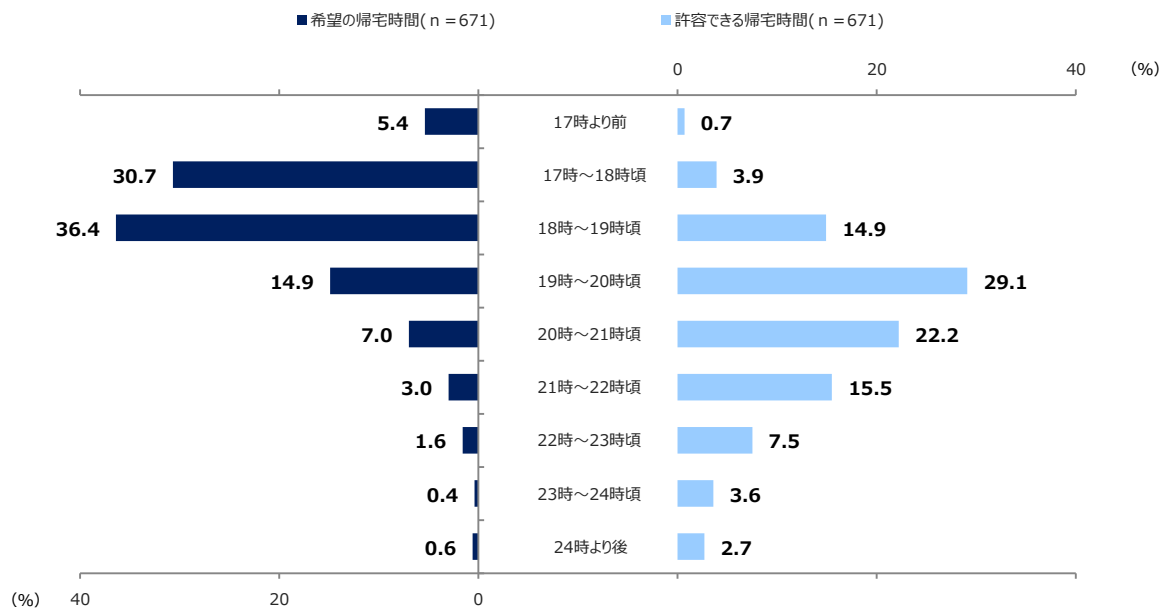


希望する／許容できる帰宅時間

学生に、社会人として実際に働き始めたら何時くらいに帰宅したいと思うか、希望する帰宅時間と許容できる帰宅時間について聞いた。希望する帰宅時間については、「18時～19時頃」が最も多く36.4%、次点は「17時～18時頃」30.7%となった。その前の時間帯も合わせると、7割以上の学生が19時以前の帰宅を望んでいるようだ。また、許容できる帰宅時間は、「19時～20時頃」29.1%、「20時～21時頃」22.2%となっており、希望する帰宅時間よりもピークが2時間程度後ろ倒しとなっている（図28.1）。

男女別に見ると、希望する帰宅時間も許容できる帰宅時間も、女性の方が早い時間帯を回答している割合が高い（図28.2）。

【図28.1】希望する／許容できる帰宅時間



【図28.1】希望する／許容できる帰宅時間：男女別

